

平成 31 / 令和元年度

北海道立近代美術館

HOKKAIDO MUSEUM OF MODERN ART

年報

目次

1	美術作品の収集	
1	令和元年度新収蔵作品概要	3
2	作品収集状況	4
3	令和元年度新収蔵作品一覧	5
4	新収蔵作品目録	8
2-1	展覧会① 近美コレクション	
◆	〈近美コレクション〉一覧	12
1	風雅の人 蠣崎波響 展 ほか	13
2	来るべき20年代に向けて ほか	20
3	友田コレクション 西洋版画の名品 ほか	29
2-2	展覧会② 特別展	
◆	特別展一覧	36
1	東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展	37
2	カラヴァッジョ展 天才画家の闇と光	42
3	アイヌの美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから	48
4	北海道151年のヴンダーカンマー —《歴史》と《アート》を集めた《驚異の部屋》へようこそ—	55
2-3	展覧会③ 貸館	
◆	貸館一覧	67
3	教育普及関係	
1	移動美術館	68
2	夏のワークショップ2019	71
3	解説活動	72
4	博物館実習【館園実習】	74
5	近代美術館・三岸美術館・知事公館ぐるっと三館鑑賞ツアー	75
6	出張アート教室	76

7	ボランティアの活動	77
8	協力事業	78
9	その他	81
10	教育普及活動（細目）	82
4	資料・情報関係	
1	刊行物	90
2	特別観覧	91
3	情報資料	92
5	美術品の貸し出しと保存・修復	
1	貸し出し	93
2	保存・修復	94
6	調査研究	95
7	観覧者数一覧等、その他	
1	事業日誌	101
2	名簿・委員	107
3	名簿・職員	108
4	沿革	109
5	観覧者数一覧	111
6	教育・情報サービス利用者一覧	112

1 美術作品の収集

1 令和元年度新収蔵作品概要

令和元年度は、第4期北海道立美術館等作品収蔵計画（令和10年度まで）の初年度となった。当館の新収蔵作品は、77点。分野別では、油彩10点、日本画3点、水彩・素描24点、版画38点、工芸2点である。また、資料として油彩1点、水彩・素描2点を受け入れた。すべて寄贈による。詳細は別表の「作品収集状況」及び「令和元年度新収蔵作品一覧」のとおり。

この収集により、作品総所蔵点数は5,393点、資料総所蔵点数は543点となった。以下、特徴的な収集を中心に概要を紹介する。

【北海道の美術】

油彩画家・佐藤九二男（1897-1945）の作品が初めて収蔵となった。佐藤は札幌に生まれ、旧制北海中学校で美術部「団栗会」を結成し、その後東京美術学校に学んだ。1927年に朝鮮に渡り、同地の美術活動に積極的に参加。1935年以降、独立展にも入選を重ねている。今回は、平成27年度に当館で開催した「日韓近代美術家のまなざしー『朝鮮』で描く」展が契機となって、遺族から寄贈の申出があり、シュルレアリスム風の油彩1点を収蔵した。

展覧会が契機となったのは、深井克美（1948-1978）の収蔵についても同じである。深井は函館生まれ。緻密な点描による幻想的な人間像を自由美術展に出品し、評価を高めつつあった30歳の時に自ら命を絶った。当館では昭和58年度に初めての回顧展を開催し、また、同年から主要作品等を収蔵して、折に触れ展示に活用してきた。そして彼の生誕70年・没後40年にあたる平成30年度、二度目の回顧展を開催したが、それが機縁となって、深井が展示を行った画廊の遺族から油彩画2点の寄贈を受けた。

また、当館コレクションのなかでも人気の高い《朝の祈り》の作者、林竹治郎（1871-1941）の遺族から、油彩画2点、水彩画23点の寄贈を受けた。林は宮城県に生まれ、東京美術学校で洋画を学んだ後、1898年来道。教育者として三岸好太郎ほか多くの後進を育て、また、上述の《朝の祈り》によって、第1回文展（1907年）に北海道からただ一人入選を果たした。後半生には水彩画を数多く描いており、今回の多数の水彩画収蔵を通して、画家としての林竹治郎の姿を今後いっそう明らかにすることができるであろう。

根室に生まれ、国際的に活躍する版画家・池田良二（1947生）からは、自作の版画11点の寄贈を受けた。これまでに1970年代末から1980年代末までの版画12点を収蔵しているが、今回、1990年代初めから2010年代までの作品を加えることができた。国外の版画展における受賞作も含まれており、池田の制作の大きな流れを概観できるコレクションとなった。

他に北海道近世の画家・蠣崎波響（1764-1826）、北海道画壇に大きな足跡を残した水彩画家・繁野三郎（1894-1986）、平成29年に亡くなった抽象画家・花田和治（1946-2017）、陶による立体や平面造形を追求する下沢敏也（1960生）、ガラス工芸の米原真司（1961生）の作品を収蔵した。

【日本近代の美術】

自由美術展の画家・西八郎（1929-1979）の油彩画3点を、遺族から受贈した。西は、「北海道の美術」の重要作家である深井克美の絵画の師であり、彼の作風に影響を与えたことから、関連作家として収蔵したものである。

【版画】（友田コレクション）

「友田コレクション」とは、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏が北海道の人々に優れた美術作品の鑑賞機会を提供したいとの思いで、長年にわたり私財を投じて収集してきた近現代の名作版画コレクションである。前年度に続く寄贈であり、今回は日本及び海外の近現代の版画27点（組作品を一枚ごとに数えると413点）を受贈した。

（当館学芸部長 中村聖司）

2 作品収集状況

分野	平成30年度末 作品所蔵数	令和元年度作品収集数				令和元年度末 作品所蔵総数	資料		
		購入	受贈	管理換	計		平成30年度末 資料所蔵数	令和元年度末 資料収集数	令和元年度末 資料所蔵総数
油彩	810点 (15.2%)	0点	10点	0点	10点	820点 (15.2%)	89点	1点	90点
日本画	272 (5.1%)	0	3	0	3	275 (5.1%)	23	0	23
水彩・素描	340 (6.4%)	0	24	0	24	364 (6.7%)	214	2	216
版画	1,784 (33.6%)	0	38	0	38	1,822 (33.8%)	84	0	84
彫刻	112 (2.1%)	0	0	0	0	112 (2.1%)	14	0	14
工芸	1,716 (32.3%)	0	2	0	2	1,718 (31.9%)	96	0	96
デザイン	231 (4.3%)	0	0	0	0	231 (4.3%)	18	0	18
写真	51 (1.0%)	0	0	0	0	51 (0.9%)	2	0	2
合計	5,316 (100.0%)	0	77	0	77	5,393 (100.0%)	540	3	543

3 令和元年度新収蔵作品一覧

受贈作品一覧

作品番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
2019001	油彩	佐藤 九二男	雪庭		油彩、カンヴァス	90.0×130.0
2019002	油彩	花田 和治	山と水	1989(平成元)	油彩、カンヴァス	94.0×320.0
2019003	油彩	花田 和治	海 I	1990(平成2)	油彩、カンヴァス	77.0×385.0
2019004	油彩	林 竹治郎	校庭	1916(明治5)	油彩、カンヴァス	44.6×56.0
2019005	油彩	林 竹治郎	夜店	1930(昭和5)	油彩、カンヴァス	72.0×89.9
2019006	油彩	深井 克美	目覚	1974(昭和49)	油彩、カンヴァス	22.6×15.8
2019007	油彩	深井 克美	塩	1976(昭和51)	油彩、カンヴァス	22.0×27.2
2019008	油彩	西 八郎	人形	1972(昭和47)	油彩、カンヴァス	152.8×105.0
2019009	油彩	西 八郎	声	1973(昭和48)	油彩、カンヴァス	97.3×130.4
2019010	油彩	西 八郎	森	1977(昭和52)	油彩、カンヴァス	112.0×145.0
2019011	日本画	蠣崎 波響	花鳥図		絹本彩色、軸	93.5×35.0
2019012	日本画	蠣崎 波響	鶴図		絹本彩色、軸	89.0×34.0
2019013	日本画	蠣崎 波響	富嶺江春寒之図		絹本彩色、軸	40.5×58.5
2019014	水彩・素描	林 竹治郎	(騎馬像)	1903(明治36)	水彩、紙	24.3×18.6
2019015	水彩・素描	林 竹治郎	豊平館	1939(昭和14)	水彩、紙	23.1×30.9
2019016	水彩・素描	林 竹治郎	北海道当別	1939(昭和14)	水彩、紙	23.1×30.9
2019017	水彩・素描	林 竹治郎	高千穂	1939(昭和14)	水彩、紙	22.5×27.9
2019018	水彩・素描	林 竹治郎	高千穂沿道風景	1939(昭和14)	水彩、紙	22.9×28.0
2019019	水彩・素描	林 竹治郎	(比羅夫駅)	1939(昭和14)	水彩、紙	27.8×22.8
2019020	水彩・素描	林 竹治郎	指宿海岸	1939(昭和14)	水彩、紙	24.8×18.4
2019021	水彩・素描	林 竹治郎	高隈山	1939(昭和14)	水彩、紙	28.1×17.2
2019022	水彩・素描	林 竹治郎	高隈山	1939(昭和14)	水彩、紙	28.6×18.9
2019023	水彩・素描	林 竹治郎	高隈村竹藪の日光	1939(昭和14)	水彩、紙	23.9×19.3
2019024	水彩・素描	林 竹治郎	鹿児島雨景	1939(昭和14)	水彩、紙	17.6×25.9
2019025	水彩・素描	林 竹治郎	沖縄	1940(昭和15)	水彩、紙	23.1×26.7
2019026	水彩・素描	林 竹治郎	沖縄波ノ上宮	1940(昭和15)	水彩、紙	19.0×26.7
2019027	水彩・素描	林 竹治郎	沖縄糸満/沖縄識名園	1940(昭和15)	水彩、紙	18.5×26.7 /16.6×26.7
2019028	水彩・素描	林 竹治郎	沖縄壺屋	1940(昭和15)	水彩、紙	19.0×23.4
2019029	水彩・素描	林 竹治郎	敬愛園官舎の庭	1940(昭和15)	水彩、紙	14.0×21.0
2019030	水彩・素描	林 竹治郎	高隈風景		水彩、紙	24.0×19.4
2019031	水彩・素描	林 竹治郎	(農作業)		水彩、紙	17.7×24.4
2019032	水彩・素描	林 竹治郎	(家と庭)		水彩、紙	27.6×18.1
2019033	水彩・素描	林 竹治郎	(不明)		水彩、紙	18.1×24.6
2019034	水彩・素描	林 竹治郎	(農家)		水彩、紙	19.0×14.8
2019035	水彩・素描	林 竹治郎	(鹿児島にて スケッチをする男性)		水彩、紙	28.1×22.3
2019036	水彩・素描	林 竹治郎	大学病院温室		水彩、紙	23.2×26.8
2019037	水彩・素描	繁野 三郎	(不詳)		水彩、紙	13.7×19.5
2019038	版画	池田 良二	Light crossing border (越境する光)	1991(平成3)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、メゾチント、紙	57.0×85.0
2019039	版画	池田 良二	Untitled A	1998(平成10)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、メゾチント、紙	36.5×51.5
2019040	版画	池田 良二	Untitled B	1998(平成10)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、メゾチント、紙	36.5×51.5
2019041	版画	池田 良二	Stratum of locus (所在の地層)	2002(平成14)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	69.2×55.0

2019042	版画	池田 良二	Flame of circularity (円環する焔)	2004(平成16)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	70.0×55.0
2019043	版画	池田 良二	Circle of breath (呼吸する円環)	2005(平成17)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	40.0×27.0
2019044	版画	池田 良二	Distance of remembrance B (記憶の距離 B)	2006(平成18)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	55.0×45.0
2019045	版画	池田 良二	Winged seeds B (翼をもつ種子 B)	2006(平成18)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	55.0×45.0
2019046	版画	池田 良二	Flame of a channel (海峡の焔)	2007(平成19)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	70.0×56.8
2019047	版画	池田 良二	Scenery of the north boundary (北境の風景について)	2013(平成25)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	70.0×58.0
2019048	版画	池田 良二	Boundaries by stealth- Ochiishi (密やかな境界—落石)	2013(平成25)	フォトエッチング、 エッチング、アクアチ ント、ドライポイン ト、紙	70.0×58.0
2019049	版画	磯見 輝夫	『初冬の旅』 (8点組)	1983(昭和58)	木版、和紙 (越前奉 書)	27.1×39.3
2019050	版画	磯見 輝夫	恋人達の樹	1994(平成6)	木版、紙	34.7×23.9
2019051	版画	井上 洋介	『ふりむけば猫』 (21点組 (木 版画20点と墨絵1点))	1981(昭和56) 刊行：1981(昭 和56)	木版、手彩色、紙	20.0×15.0
2019052	版画	井上 洋介	『井上洋介銅版画集 風景区』 (10点組)	1971(昭和46)	エッチング、紙	24.9×19.5
2019053	版画	儀間 比呂志	『沖縄風物版画集』 (7点組)	1966(昭和41) 刊行：1966(昭 和41)	木版 (色摺) ほか、 ミュズコットン紙	14.7×10.2 A4変形23.4× 26.7
2019054	版画	黒崎 彰	星の神話	1972(昭和47)	木版、シルクスクリー ン、越前鳥の子紙	19.0×13.3
2019055	版画	黒崎 彰	『迷彩風景 黒崎彰版画集』 (10点組)	1976(昭和51) 刊行：1976(昭 和51)	木版、越前鳥の子紙	14.0×14.0
2019056	版画	黒崎 彰	眠りの風	1982(昭和57)	木版、越前鳥の子紙	35.8×24.8
2019057	版画	駒井 哲郎	『丸山薫詩集 蟻のいる顔』 (6 点組)	刊行：1973(昭 和48)	エッチング、アクアチ ント、紙	37.3×27.3
2019058	版画	駒井 哲郎	鳥と果実 (小)	1959(昭和34)	エッチング、サンド ペーパーによるエッチ ング、紙	15.2×17.4
2019059	版画	駒井 哲郎	丘 (日本の四季 春)	1975(昭和50)	エッチング、紙	26.0×23.7
2019060	版画	駒井 哲郎	(不詳)	1974(昭和49)頃	銅版画、紙	10.4×8.8
2019061	版画	芹沢 銈介	『新版 絵本どんきほうて』	刊行：1976(昭 和51)	型染、紙	40.5×36.5
2019062	版画	芹沢 銈介	『中国忍者伝 十三妹挿絵集』	1965(昭和40) 刊行：1986(昭 和61)	型染、紙	27.3×29.4
2019063	版画	高山 辰雄	『唐詩選リトグラフ集』	刊行：1968(昭 和43)	リトグラフ、紙	58.0×39.7
2019064	版画	高山 辰雄	『聊斎志異』	刊行：1978(昭 和53)	エッチング、ドライポ イント、BFKリーブ	13.3×17.4
2019065	版画	棟方 志功	善知鳥版画巻 夜訪の柵	1938(昭和13)	木版、紙	31.0×32.0
2019066	版画	棟方 志功	『鯉雨』	刊行：1948(昭 和23)	木版、裏彩色、雁皮紙	16.0×11.7

2019067	版画	南 桂子	魚と舟	1962(昭和37)	エッチング、ソフトグラウンドエッチング、サンドペーパー、紙	34.5×28.8
2019068	版画	南 桂子	教会と犬をつれた少女		エッチング、紙	3.9×5.8
2019069	版画	宮下 登喜雄	『宮下登喜雄詩画集 拾四詩片』(15点組)	刊行：1970(昭和45)	銅版画、紙	6.8×6.8
2019070	版画	ベルナール・ビュフェ	『純粋さを求めて』(21点組)	1953	ドライポイント、紙	33.0×20.9 書籍サイズ： 38.7×26.9×3.8
2019071	版画	ベルナール・ビュフェ	『幻想旅行』(18点組)	刊行：1958	ドライポイント、紙	40.8×32.7 書籍サイズ： 41.5×33.0×3.8
2019072	版画	ベルナール・ビュフェ	『植物図集 パンジー』	1966	リトグラフ、紙	49.2×37.1
2019073	版画	マルク・シャガール	『シャガール・リトグラフ第2巻』(11点組)	1963	リトグラフ、紙	31.8×24.0
2019074	版画	アントニ・クラーヴェ	『ガルガンチュア物語』(59点組)	1951-55 刊行：1955	リトグラフ、紙	27.5×20.8 書籍サイズ： 39.5×29.6×7.0
2019075	版画	アンリ・マティス	『シャルル・ドルレアン詩集』(94点組)	1943頃 刊行：1950	リトグラフ、紙	40.6×26.4 書籍サイズ： 41.4×27.7×2.9
2019076	工芸	下沢 敏也	Re-birth 痕跡	2016(平成28)	陶土、顔料、酸化鋳物、アクリル、ボード	187.0×187.0
2019077	工芸	米原 眞司	吉兆 その2	2002(平成14)	ガラス：被せガラス、宙吹き、ビックアップ、サンドブラスト	37.6×35.5

受贈作品一覧(資料扱い)

番号	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
ソ00541	油彩	林 竹治郎	秩父丸	1934(昭和9)	油彩、紙	64.2×87.9
ソ00542	素描	瀧川 嘉子	《境 KYOH No.46》他設計図	1990(平成2)ほか	鉛筆、紙	A2またはA3、全27図
ソ00543	水彩・素描	藤田嗣治	藤田嗣治関係資料			

※寸法は、平面作品が縦×横×高さ、立体が幅×奥行×高さ

4 新収蔵作品目録

凡例

- この目録には、平成31年4月1日から令和2年3月31日までに、北海道立近代美術館に収蔵された作品を収録した。
- 各作品は次の分類に基づいて掲載した。
 - エコール・ド・パリ
 - 北海道の美術
 - ガラス工芸
 - 日本近代の美術
 - その他
- 北海道の美術は、北海道出身または北海道に居住した作家、および北海道を制作の拠点とした作家をもってこれにあてた。
- 作者名は各分類ごとに、50音順に配列した。同一作家の作品が2点以上ある場合は、各分野ごとに制作年順に配列した。
- 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。
作者名、生没年、作品名、制作年、技法・材質・形状、寸法、収集の経緯、作品番号。
- 制作年は作品に明記されているもの、制作事情のはっきりしているもののほか、展覧会発表の年をとって制作年とみなしたものがある。
- 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さ、あるいは径×高さを示した。

1 エコール・ド・パリ The École de Paris

	作者名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	番号
1	マルク・シャガール Marc CHAGALL	1887-1985	『シャガール・リトグラフ第2巻』 The Lithographs of Chagall	1963	リトグラフ、紙 (11点組)	31.8×24.0	受贈(令和元年度)	2019073

2 北海道の美術 Art of Hokkaido

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	番号
2	佐藤 九二男 SATO Kunio	1897-1945 (明治30-昭和20)	雪庭 Snow Garden		油彩、カンヴァス	90.0×130.0	受贈(令和元年度)	2019001
3	花田 和治 HANADA Kazuharu	1946-2017 (昭和21-平成29)	山と水 Mountain and Water	1989(平成元)	油彩、カンヴァス	94.0×320.0	受贈(令和元年度)	2019002
4	花田 和治 HANADA Kazuharu	1946-2017 (昭和21-平成29)	海 I Ocean I	1990(平成2)	油彩、カンヴァス	77.0×385.0	受贈(令和元年度)	2019003
5	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	校庭 Schoolyard	1916(明治5)	油彩、カンヴァス	44.6×56.0	受贈(令和元年度)	2019004
6	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	夜店 Night Market	1930(昭和5)	油彩、カンヴァス	72.0×89.9	受贈(令和元年度)	2019005
7	深井 克美 FUKAI Katsumi	1948-1978 (昭和23-昭和53)	目覚 Awakening	1974(昭和49)	油彩、カンヴァス	22.6×15.8	受贈(令和元年度)	2019006
8	深井 克美 FUKAI Katsumi	1948-1978 (昭和23-昭和53)	塩 Salt	1976(昭和51)	油彩、カンヴァス	22.0×27.2	受贈(令和元年度)	2019007
9	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyo	1764-1826 (明和元-文政9)	花鳥図 Flowers and A Bird		絹本彩色、軸	93.5×35.0	受贈(令和元年度)	2019011
10	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyo	1764-1826 (明和元-文政9)	鶴図 Cranes		絹本彩色、軸	89.0×34.0	受贈(令和元年度)	2019012
11	蠣崎 波響 KAKIZAKI Hakyo	1764-1826 (明和元-文政9)	富嶺江春寒之図 View of Mt. Fuji in Early Spring	1826(文政9)	絹本彩色、軸	40.5×58.5	受贈(令和元年度)	2019013
12	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(騎馬像) (An Equestrian Statue)	1903(明治36)	水彩、紙	24.3×18.6	受贈(令和元年度)	2019014
13	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	豊平館 Hoheikan	1939(昭和14)	水彩、紙	23.1×30.9	受贈(令和元年度)	2019015
14	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	北海道当別 Tobetsu, Hokkaido	1939(昭和14)	水彩、紙	23.1×30.9	受贈(令和元年度)	2019016
15	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高千穂 Takachiho	1939(昭和14)	水彩、紙	22.5×27.9	受贈(令和元年度)	2019017
16	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高千穂沿道風景 Landscape of a Road in Takachiho	1939(昭和14)	水彩、紙	22.9×28.0	受贈(令和元年度)	2019018
17	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(比羅夫駅) (Hirafu Station)	1939(昭和14)	水彩、紙	27.8×22.8	受贈(令和元年度)	2019019
18	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	指宿海岸 Ibusuki Beach	1939(昭和14)	水彩、紙	24.8×18.4	受贈(令和元年度)	2019020
19	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高隈山 Mt. Takakuma	1939(昭和14)	水彩、紙	28.1×17.2	受贈(令和元年度)	2019021
20	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高隈山 Mt. Takakuma	1939(昭和14)	水彩、紙	28.6×18.9	受贈(令和元年度)	2019022
21	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高隈村竹藪の日光 Sun Light through Bamboo Bush in Takakuma	1939(昭和14)	水彩、紙	23.9×19.3	受贈(令和元年度)	2019023
22	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	鹿児島雨景 Rainy Landscape in Kagoshima	1939(昭和14)	水彩、紙	17.6×25.9	受贈(令和元年度)	2019024

23	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	沖縄 Okinawa	1940(昭和15)	水彩、紙	23.1×26.7	受贈(令和 元年度)	2019025
24	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	沖繩波ノ上宮 Naminoue Shrine in Okinawa	1940(昭和15)	水彩、紙	19.0×26.7	受贈(令和 元年度)	2019026
25	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	沖繩糸満ノ沖繩識名園 Itoman, Okinawa/Shikina-en Garden	1940(昭和15)	水彩、紙	18.5×26.7/ 16.6×26.7	受贈(令和 元年度)	2019027
26	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	沖繩壺屋 Tsuboya, Okinawa	1940(昭和15)	水彩、紙	19.0×23.4	受贈(令和 元年度)	2019028
27	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	敬愛園官舎の庭 Garden of Keiaien	1940(昭和15)	水彩、紙	14.0×21.0	受贈(令和 元年度)	2019029
28	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	高隈風景 Landscape in Takakuma		水彩、紙	24.0×19.4	受贈(令和 元年度)	2019030
29	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(農作業) (Working on a Farm)		水彩、紙	17.7×24.4	受贈(令和 元年度)	2019031
30	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(家と庭) (House and Garden)		水彩、紙	27.6×18.1	受贈(令和 元年度)	2019032
31	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(不明) (Unknown)		水彩、紙	18.1×24.6	受贈(令和 元年度)	2019033
32	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(農家) (A Farmer's House)		水彩、紙	19.0×14.8	受贈(令和 元年度)	2019034
33	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	(鹿児島にて スケッチをする 男性) (In Kagoshima: A Man Sketching)		水彩、紙	28.1×22.3	受贈(令和 元年度)	2019035
34	林 竹治郎 HAYASHI Takejiro	1871-1941 (明治4-昭和16)	大学病院温室 Greenhouse at the University Hospital		水彩、紙	23.2×26.8	受贈(令和 元年度)	2019036
35	繁野 三郎 SHIGENO Saburo	1894-1986 (明治27-昭和61)	(不詳) (unknown)		水彩、紙	13.7×19.5	受贈(令和 元年度)	2019037
36	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Light crossing border (越境する光)	1991(平成3)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 メ ゾチント、紙	57.0×85.0	受贈(令和 元年度)	2019038
37	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Untitled A	1998(平成10)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 メ ゾチント、紙	36.5×51.5	受贈(令和 元年度)	2019039
38	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Untitled B	1998(平成10)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 メ ゾチント、紙	36.5×51.5	受贈(令和 元年度)	2019040
39	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Stratum of locus (所在の地層)	2002(平成14)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	69.2×55.0	受贈(令和 元年度)	2019041
40	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Flame of circularity (円環する焔)	2004(平成16)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	70.0×55.0	受贈(令和 元年度)	2019042
41	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Circle of breath (呼吸する円環)	2005(平成17)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	40.0×27.0	受贈(令和 元年度)	2019043
42	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Distance of remembrance B (記憶の距離 B)	2006(平成18)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	55.0×45.0	受贈(令和 元年度)	2019044
43	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Winged seeds B (翼をもつ種子 B)	2006(平成18)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	55.0×45.0	受贈(令和 元年度)	2019045
44	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Flame of a channel (海峡の焔)	2007(平成19)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	70.0×56.8	受贈(令和 元年度)	2019046
45	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Scenery of the north boundary (北境の風景について)	2013(平成25)	フォトエッチ ング、エッチ ング、アクア チント、ド ライポイント、 紙	70.0×58.0	受贈(令和 元年度)	2019047

46	池田 良二 IKEDA Ryoji	1947- (昭和22-)	Boundaries by stealth- Ochiishi (密やかな境界—落石)	2013(平成25)	フォトエッチング、 エッチング、 アクアチント、ド ライポイント、紙	70.0×58.0	受贈(令和 元年度)	2019048
47	下沢 敏也 SHIMOZAWA Toshiya	1960- (昭和35-)	Re-birth「痕跡」 Re-birth: Trace	2016(平成28)	陶土、顔料、酸化 鈦物、アクリル、 ボード	187.0×187.0	受贈(令和 元年度)	2019076

3 ガラス工芸 Glass Art

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	番号
48 米原 眞司 YONEHARA Shinji	1961- (昭和36-)	吉兆 その2 Good Omen No.2	2002(平成14)	ガラス：被せガラ ス、宙吹き、ピッ クアップ、サンド ブラスト	37.6×35.5	受贈(令和 元年度)	2019077

4 日本近代の美術 Modern Japanese Art

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	番号
49 西 八郎 NISHI Hachiro	1929-1979 (昭和4-昭和54)	人形 Marionette	1972(昭和47)	油彩、カンヴァス	152.8×105.0	受贈(令和 元年度)	2019008
50 西 八郎 NISHI Hachiro	1929-1979 (昭和4-昭和54)	声 Cry	1973(昭和48)	油彩、カンヴァス	97.3×130.4	受贈(令和 元年度)	2019009
51 西 八郎 NISHI Hachiro	1929-1979 (昭和4-昭和54)	森 Woods	1977(昭和52)	油彩、カンヴァス	112.0×145.0	受贈(令和 元年度)	2019010
52 磯見 輝夫 ISOMI Teruo	1941- (昭和16-)	『初冬の旅』 Journey in Early Winter	1983(昭和58)	木版、和紙(越前 奉書) (8点組)	27.1×39.3	受贈(令和 元年度)	2019049
53 磯見 輝夫 ISOMI Teruo	1941- (昭和16-)	恋人達の樹 Lovers' Tree	1994(平成6)	木版、紙	34.7×23.9	受贈(令和 元年度)	2019050
54 井上 洋介 INOUE Yosuke	1931-2016 (昭和6-平成28)	『ふりむけば猫』 Turn Around, There is a Cat.	1981(昭和56) 刊行: 1981(昭和56)	木版、手彩色、紙 (21点組(木版画 20点と墨絵1点))	20.0×15.0	受贈(令和 元年度)	2019051
55 井上 洋介 INOUE Yosuke	1931-2016 (昭和6-平成28)	『井上洋介銅版画集 風景区』 Landscape	1971(昭和46)	エッチング、紙 (10点組)	24.9×19.5	受贈(令和 元年度)	2019052
56 儀間 比呂志 GIMA Hiroshi	1923-2017 (大正12-平成29)	『沖縄風物版画集』 A Collection of Prints: Landscapes and Seasons in Okinawa	1966(昭和41) 刊行: 1966(昭和41)	木版(色摺)ほ か、ミズコット ン紙(7点組)	14.7×10.2 A4変形23.4× 26.7	受贈(令和 元年度)	2019053
57 黒崎 彰 KUROSAKI Akira	1937-2019 (昭和12-令和元)	星の神話 Myth of Stars	1972(昭和47)	木版、シルクスク リーン、越前鳥の 子紙	19.0×13.3	受贈(令和 元年度)	2019054
58 黒崎 彰 KUROSAKI Akira	1937-2019 (昭和12-令和元)	『迷彩風景 黒崎彰版画集』 Camouflage Landscape	1976(昭和51) 刊行: 1976(昭和51)	木版、越前鳥の子 紙(10点組)	14.0×14.0	受贈(令和 元年度)	2019055
59 黒崎 彰 KUROSAKI Akira	1937-2019 (昭和12-令和元)	眠りの風 Breeze of Sleep	1982(昭和57)	木版、越前鳥の子 紙	35.8×24.8	受贈(令和 元年度)	2019056
60 駒井 哲郎 KOMAI Tetsuro	1920-1976 (大正9-昭和51)	『丸山薫詩集 蟻のいる顔』 Ants on the Face	刊行: 1973(昭和48)	エッチング、アク アチント、紙(6点 組)	37.3×27.3	受贈(令和 元年度)	2019057
61 駒井 哲郎 KOMAI Tetsuro	1920-1976 (大正9-昭和51)	鳥と果実(小) Bird and Fruit (small)	1959(昭和34)	エッチング、サン ドペーパーによる エッチング、紙	15.2×17.4	受贈(令和 元年度)	2019058
62 駒井 哲郎 KOMAI Tetsuro	1920-1976 (大正9-昭和51)	丘(日本の四季 春) Hill (Four Seasons in Japan: Spring)	1975(昭和50)	エッチング、紙	26.0×23.7	受贈(令和 元年度)	2019059
63 駒井 哲郎 KOMAI Tetsuro	1920-1976 (大正9-昭和51)	(不詳) (Unknown)	1974(昭和49) 頃	銅版画、紙	10.4×8.8	受贈(令和 元年度)	2019060
64 芹沢 銈介 SERIZAWA Keisuke	1895-1984 (明治28-昭和59)	『新版 絵本どんきほうて』 The Illustrated Don Quixote, new edition	刊行: 1976(昭和51)	型染、紙	40.5×36.5	受贈(令和 元年度)	2019061
65 芹沢 銈介 SERIZAWA Keisuke	1895-1984 (明治28-昭和59)	『中国忍者伝 十三妹挿絵集』 The Illustrated Story of a Chinese Female Ninja	1965(昭和40) 刊行: 1986(昭和61)	型染、紙	27.3×29.4	受贈(令和 元年度)	2019062
66 高山 辰雄 TAKAYAMA Tatsuo	1912-2007 (明治45-平成19)	『唐詩選リトグラフ集』 A Collection of Lithograph Prints for Selected Tang Poems	刊行: 1968(昭和43)	リトグラフ、紙	58.0×39.7	受贈(令和 元年度)	2019063
67 高山 辰雄 TAKAYAMA Tatsuo	1912-2007 (明治45-平成19)	『聊齋志異』 A Collection of Lithograph Prints for Selected Tang Poems	刊行: 1978(昭和53)	エッチング、ドラ イポイント、BFK リープ	13.3×17.4	受贈(令和 元年度)	2019064
68 棟方 志功 MUNAKATA Shiko	1903-1975 (明治36-昭和50)	善知鳥版画巻 夜訪の柵 The Story of the Cormorant	1938(昭和13)	木版、紙	31.0×32.0	受贈(令和 元年度)	2019065
69 棟方 志功 MUNAKATA Shiko	1903-1975 (明治36-昭和50)	『鯉雨』 Riu (Carp and Rain)	刊行: 1948(昭和23)	木版、裏彩色、雁 皮紙	16.0×11.7	受贈(令和 元年度)	2019066

70	南 桂子 MINAMI Keiko	1911-2004 (明治44-平成16)	魚と舟 Fish and Sailboat	1962(昭和37)	エッチング、ソフト トグランドエッチ ング、サンドペー パー、紙	34.5×28.8	受贈(令和 元年度)	2019067
71	南 桂子 MINAMI Keiko	1911-2004 (明治44-平成16)	教会と犬をつれた少女 Church and Girl with Dog		エッチング、紙	3.9×5.8	受贈(令和 元年度)	2019068
72	宮下 登喜雄 MIYASHITA Tokio	1930-2011 (昭和5-平成23)	『宮下登喜雄詩画集 拾四詩 片』 An Illustrated Collection of Poems by Tokio Miyashita: The Fourteen Poems	刊行: 1970(昭和45)	銅版画、紙(15点 組)	6.8×6.8	受贈(令和 元年度)	2019069

5 その他 Others

	作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	区分	番号
73	ベルナール・ビュ フェ Bernard BUFFET	1928-1999	『純粋さを求めて』 In Search of Purity	1953	ドライポイント、 紙(21点組)	33.0×20.9 書籍サイズ: 38.7×26.9×3.8	受贈(令和 元年度)	2019070
74	ベルナール・ビュ フェ Bernard BUFFET	1928-1999	『幻想旅行』 Fantastic Voyages	刊行:1958	ドライポイント、 紙(18点組)	40.8×32.7 書籍サイズ: 41.5×33.0×3.8	受贈(令和 元年度)	2019071
75	ベルナール・ビュ フェ Bernard BUFFET	1928-1999	『植物図集 パンジー』 Herbarium: Pansy	1966	リトグラフ、紙	49.2×37.1	受贈(令和 元年度)	2019072
76	アントニ・クラ ヴェ Antoni CLAVÉ	1913-2005	『ガルガンチュア物語』 Gargantua	1951-55 刊行:1955	リトグラフ、紙 (59点組)	27.5×20.8 書籍サイズ: 39.5×29.6×7.0	受贈(令和 元年度)	2019074
77	アンリ・マチス Henri MATISSE	1869-1954	『シャルル・ドルレアン詩集』 Poems of Charles d'Orléan	1943頃 刊行:1950	リトグラフ、紙 (94点組)	40.6×26.4 書籍サイズ: 41.4×27.7×2.9	受贈(令和 元年度)	2019075

2-1 展覧会① 近美コレクション

◆ 〈近美コレクション〉 一覧

No.	展覧会名	開催期間	開催日数	同時開催
1	風雅の人 蠣崎波響 展	平成31年 3月30日(土)～ 7月28日(日)	94日 (年度内92日)	<p>◆ ざわめきの中へ 謎めくコレクションの 打明け話</p> <p>◆ アートギャラリー北海道・北海道150年事 業「拝啓、藤田嗣治 様」ーフランク・ シャーマンコレクションと藤田、戦後の交 友をめぐってー</p> <p>◆ この1点を見てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 歌川 国貞《浮世五色合 白》 (3/30-5/26) - 歌川 国貞《近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫》(3/30-5/26) - 藤田 嗣治《二人の女》(6/8-7/28)
2	来るべき20年代に向けて	令和元年 8月10日(土)～ 11月10日(日)	83日	<p>◆ 新収蔵品展</p> <p>◆ ふれるかたち</p> <p>◆ この1点を見てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - キスリング《オランダの娘》 (8/10-9/26) - 淡島 雅吉《しづくガラス タンブ ラー》(9/27-11/10)
3	友田コレクション 西洋版画の名品	令和元年11月19日(火)～ 令和2年3月15日(日) (2月28日(金)) ※新型コロナウイルス感染 拡大により2月29日(土)か ら会期終了まで臨時休館	97日 (83日)	<p>◆ 追悼 松樹路人展</p> <p>◆ 瀧川嘉子展</p> <p>◆ この1点を見てほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ドーム《鹿文花器》 (11/19-1/16) - 小柴 外一《龍香炉》 (1/17-3/15)

1 風雅の人 蠣崎波響 展

(同時開催：ざわめきの中へ 謎めくコレクションの打明け話／アートギャラリー北海道「拝啓、藤田嗣治 様」—フランク・シャーマンコレクションと藤田、戦後の交友をめぐって—／この1点を見てほしい。)

会 期：前期／平成31年3月30日(土)～5月26日(日)
後期／6月8日(土)～7月28日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

風雅の人 蠣崎波響 展 HAKYO KAKIZAKI Exhibition

蠣崎波響(1764[明和元]-1826[文政9])は、江戸時代後期に松前で活躍した画家、漢詩人である。松前藩主の子として生まれ、かぞえ2歳で家老職の蠣崎家の養子となり、少年期は、江戸の藩邸で学を修めた。江戸の画家、宋紫石に絵を学んだのもこのころである。アイヌの指導者12人を精緻に描いた《夷酋列像》の作者として知られるが、本職は、松前藩の家老。重職に就きながら、優美な花鳥人物を多く描き、晩年は松前応挙と呼ばれた。

この展覧会は、平成29年度に購入した「瀑布双鳩図」「狛鉄線花図」と平成30年度新収蔵の波響作品「孔雀図」「松に熊図」など、さらに道内個人所蔵家の貴重な波響作品を加えて展示構成し、風雅の人、蠣崎波響の魅力に迫るべく展覧会の充実を図った。前後期で展示替し、資料含め24点を展覧した。



=同時開催=

ざわめきの中へ

謎めくコレクションの打明け話

Captivating Works from Our Collection

道立近代美術館の収蔵庫には、ジャンルやモチーフ、素性や性格もさまざまな5000点以上ものコレクションがひしめいている。作品たちは、その身にたくされた何らかのメッセージを誰かに伝える機会を待ちながら、ここで長い時を過ごしている。

本展でとりあげたのは、収蔵庫の一角でとりわけ不思議な存在感を放っている、謎めいた作品たち38点である。人間の渦巻く心情を表現した作品たち「人間についての ざわざわ…」、さまざまな世界観をあらわす作品たち「世界につい

ての、ぐるぐる…」、いまにも動き出しそうな、有機的な存在感を放つ作品たち「生命についての、うねうね…」の3セクションで構成し、日本画、油彩、版画、ガラス作品、立体彫刻、テキスタイルなど、さまざまな分野の作品を展示した。

●展示構成

人間についての ざわざわ…
世界についての ぐるぐる…
生命についての うねうね…

アートギャラリー北海道

「拝啓、藤田嗣治 様」

—フランク・シャーマンコレクションと
藤田、戦後の交友をめぐって—

“Dear Foujita” : The Friendship between Frank Sherman and Tsuguharu Foujita during the Post-World War II Period

1945年、GHQ(連合国軍最高司令官総司令部)の印刷・出版担当官として来日したフランク・エドワード・シャーマンは、日本滞在中、多くの日本人芸術家と交流をもち、彼らを支援したが、なかでも藤田嗣治とは密な交友を持った。

本展は、平成30年度第1期に、アートギャラリー北海道の一環として、当館で開催したフランク・シャーマンコレクションの全貌を紹介する展覧会の第2弾として開催されるもので、その中からシャーマンと藤田嗣治の確かな交友関係を物語る作品、写真、書簡や浮世絵などを紹介した。

●展示構成

第1章 シャーマンが捉えた藤田嗣治—そのアルバムをひもとく
第2章 シャーマンコレクションに見る藤田—作品、資料、書簡から
第3章 シャーマンが魅せられた浮世絵
第4章 戦後の藤田嗣治—フランスでの晩年

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・歌川国貞《浮世五色合 白》
(展示期間) 3月30日(土)～5月26日(日)

・藤田嗣治《二人の女》
(展示期間) 6月8日(土)～7月28日(日)

●展示

日本通運株式会社

●造作

株式会社六書堂

●広報印刷物

□ 蠣崎波響 展／謎めくコレクションの打明け話

ポスター／B2判

チラシ／A4判

印刷：株式会社アイワード

デザイン：三善デザイン事務所

□ 「拝啓、藤田嗣治 様」

チラシ／A4判

印刷・デザイン：株式会社アイワード

●出品目録

A3判4頁 (当館簡易印刷)

●関連事業

[美術講演会]

演 題：道みんの日 美術講演会

「蠣崎波響—地方美術史を担う画家として」

日 時：7月17日(水) 14時～16時

会 場：当館講堂

講 師：井上研一郎氏 (美術史家)

[アーティスト・トーク]

演 題：「森へ」

日 時：7月28日(日) 14時～15時

会 場：展示室A・1階

講 師：徳丸滋氏 (画家)

[ミュージアム・トーク]

テ ー マ：「風雅の人 蠣崎波響 展」 とことん波響ゼミ

日 時：3月31日(日)、5月19日(日)、6月16日(日)、

7月14日(日) 各14時～14時45分

講 師：五十嵐聡美 (当館学芸統括官)

テ ー マ：「拝啓、藤田嗣治 様」

日 時：4月20日(土)、5月18日(土)、6月15日(日)、

7月13日(土) 各14時30分～15時

講 師：佐藤幸宏 (当館学芸副館長)、田村允英 (当館学芸員)

テ ー マ：「この1点を見てほしい。歌川国貞《浮世五色合 白》」

日 時：4月28日(日)、29日(月・祝)、30日(火・祝)

5月1日(水・祝)、12日(日) 各14時～14時

30分

講 師：齊藤千鶴子 (当館主任学芸員)

テ ー マ：「明治～大正期の横山大観」

日 時：6月30日(日) 14時～14時30分

講 師：石井紗輝 (当館学芸員)

※会場はいずれも展示室A

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：4月13日(土) 11時～11時30分

講 師：齊藤千鶴子 (当館主任学芸員)

日 時：5月11日(土) 11時～11時30分

講 師：田村允英 (当館学芸員)

日 時：6月8日(土) 11時～11時30分

講 師：田村允英 (当館学芸員)

日 時：7月13日(土) 11時～11時30分

講 師：齊藤千鶴子 (当館主任学芸員)

※会場はいずれも展示室A

●主な新聞、雑誌記事等

・毎日新聞

「松前藩の文人画家 蠣崎波響を紹介」4月10日(水)

風雅の人 蠣崎波響 展 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
1	蠣崎 波響	水禽暁起図		絹本彩色、軸
2	● 蠣崎 波響	瀑布双鳩図	1788(天明末)頃	絹本彩色、軸
3	○ 蠣崎 波響	狝鉄線花図	1813(文化10)頃	絹本彩色、軸
4	● 蠣崎 波響	牡丹舞蝶図	1814(文化11)	絹本彩色、軸
5	○ 蠣崎 波響	東方朔図		絹本彩色、軸
6	● 蠣崎 波響	唐美人図		絹本彩色、軸
7	○ 蠣崎 波響	孔雀図		絹本彩色、軸
8	● 蠣崎 波響	松瀑雄鷹図		絹本彩色、軸
9	○ 蠣崎 波響	桜鯉図		絹本彩色、軸、双幅
10	● 蠣崎 波響	柳雀椿鴛図		絹本彩色、軸、双幅
11	○ 蠣崎 波響	松に熊図		絹本彩色、軸
12	○ 蠣崎 波響	双鶴図		絹本彩色、軸
13	● 蠣崎 波響	花鳥図		絹本彩色、軸
14	○ 蠣崎 波響	花鳥人物図屏風(左隻)	1820(文政3)	紙本彩色、押し絵貼り屏風(六曲一双)
14	● 蠣崎 波響	花鳥人物図屏風(右隻)	1820(文政3)	紙本彩色、押し絵貼り屏風(六曲一双)
15	○ 蠣崎 波響	虎図		絹本彩色、軸
16	● 蠣崎 波響	野猿人物図	1824(文政7)	絹本彩色、軸
17	○ 蠣崎 波響	富嶺江春寒之図	1826(文政9)	絹本彩色、軸
18	● 蠣崎 波響	牡丹に狗図	1826(文政9)	絹本彩色、軸
19	波響門人他合作	白蔵主図		紙本彩色、軸
20	高橋 波香	唐美人図		絹本彩色、軸
21	梅瘦 杏雨(落款)	三賢図		絹本彩色、軸
22	● 波響(落款)	朝顔金鶏図		絹本彩色、軸
23	波響(落款)	松孔雀図		絹本彩色、軸
24	波響(落款)	牡丹孔雀図		絹本彩色、軸

※○は前期[平成31年3月30日(土)~令和元年5月26日(日)]、●は後期[令和元年6月8日(土)~7月28日(日)]展示

※Nos. 1, 4, 5, 9, 10, 12, 13, 16-19は個人蔵

ざわめきの中へ 謎めくコレクションの打明け話 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
1	三木 富雄	耳	1965(昭和40)頃	アルミニウム
人間についての ざわざわ…				
2	菊川 多賀	小宰相	1976(昭和51)	紙本彩色、額
3	菊川 多賀	華	1989(平成元)	紙本彩色、額
4	○ 岩橋 英遠	明治	1950(昭和25)	紙本彩色、二曲一双
5	● 横山 大観	陶靖節「幽篁弾琴」	1919(大正8)	絹本彩色、軸
6	● 下村 観山	陶靖節「見南山図」	1919(大正8)	絹本彩色、軸
7	● 横山 大観	秋思	1898(明治31)	絹本彩色、軸
8	プラブハカール S. ナイク=サタム	混迷	1984	ゴブラン織
9	ロバート・パルスキー	生は暑い夏の日のように彼のもとを過ぎ去った	1987	ガラス(キャスト、接着、着色、サンドブラスト)
10	チェスラフ・ズュペール	無題	1988	ガラス(ハンマーによるカット、研磨、サンドブラスト、着色)
11	中江 紀洋	私のBC330 (Mater dolorosa)	1982(昭和57)	木(カツラ、マツ、ホウノキ)
12	○ クリシナ・レディ	はい廻る	1973(昭和48)頃	銅版、紙
13	● クリシナ・レディ	子供の空間	1973(昭和48)頃	銅版、紙
14	藤本 俊子	野原にて(野原の一日)	1958(昭和33)	油彩、カンヴァス
15	○ 永瀬 義郎	浪漫「洞窟の処女」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
16	○ 永瀬 義郎	浪漫「浪漫」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
17	○ 永瀬 義郎	浪漫「水の精」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
18	● 永瀬 義郎	浪漫「淡雪」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
19	● 永瀬 義郎	浪漫「からくり」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
20	● 永瀬 義郎	浪漫「三姉妹」	1978(昭和53)	NP' 73、紙
21	福井 正治	聖堂一黄色い柩一	1987(昭和62)	油彩、石膏、カンヴァス
22	岸本 裕躬	さよなら・・・母さん	1970(昭和45)	油彩、カンヴァス
23	小野 州一	青い浴室	1979(昭和54)	油彩、カンヴァス
24	木路 毛五郎	虚と実	1970(昭和45)	油彩、カンヴァス
25	阿部 国利	擬態99-3	1999(平成11)	アクリル、カンヴァス
26	阿部 国利	三角記号の風景	1999(平成11)	アクリル、カンヴァス
27	深井 克美	人	1978(昭和53)	油彩、カンヴァス
28	森山 誠	memory 2000-3	2000(平成12)	油彩、カンヴァス
29	野本 醇	春を待つ(希望)	1979(昭和54)	油彩、カンヴァス
30	鶴川 五郎	沼の畔	1977(昭和52)	油彩、カンヴァス
世界についての ぐるぐる…				
31	村上 善男	卍町に釘打ち(壳)	1983(昭和58)	アクリル、カンヴァス、紙
32	堀内 掬夫	作品FU-1	1965(昭和40)	油彩、カンヴァス
33	三輪 途道	月の舟	1994(平成6)	木(クスノキ、ヒノキ)、漆、白土
34	大野 椒嵩	金鳥・蟾蜍	1972(昭和47)	紙本彩色、額
35	片多 徳郎	霹靂	1919(大正8)	油彩、カンヴァス
生命についての うねうね…				
36	米谷 雄平	地に還るもの I	1981(昭和56)	アクリル、カンヴァス
37	徳丸 滋	森	1982(昭和57)	油彩、カンヴァス
38	中村 木美	白い樹	1988(昭和63)	木綿糸、麻、布、金属枠

※○は前期[平成31年3月30日(土)~令和元年5月26日(日)]、●は後期[令和元年6月8日(土)~7月28日(日)] 展示

※No. 4は当館寄託、No. 7は個人蔵、それ以外は当館蔵

「拝啓、藤田嗣治 様」 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
第1章 シャーマンが捉えた藤田嗣治—そのアルバムから					
1	—	藤の枝をもつ藤田			
2	—	藤田作・藤まつり曲目			
3	—	藤田と吉田晴風			
4	—	勢津子妃殿下の姿を写す藤田			
5	—	勢津子妃殿下の姿を写す藤田			
6	—	勢津子妃殿下の姿を写すシャーマン			
7	—	勢津子妃殿下の姿を写す藤田、シャーマン			
8	—	藤田作・秩父宮妃殿下の肖像 (写真)			
9	—	秩父宮両殿下と藤田			
10	—	秩父宮殿下からの礼状	1949(昭和24)		
第2章 シャーマンコレクションに見る藤田—作品、資料、書簡から					
11	藤田 嗣治	クリスマスカード《キリスト生誕》			
12	—	クリスマスカード《キリスト生誕》の銅版原版			
13	—	自画像 (版木)			
14	—	フジタ展パンフレット (1972年)			
15	藤田 嗣治	フランク・シャーマン像	1947-48(昭和22-23)頃	墨、水彩、紙	30.0×21.5
16	伊原 宇三郎	フランク・シャーマン像	1950(昭和25)	油彩、カンヴァス	46.0×38.0
17	発信者：藤田 嗣治	伊原宛書簡1948/6/22	1948(昭和23)		
18	発信者：藤田 嗣治	伊原宛書簡1949/12/8	1948(昭和23)		
19	発信者：藤田 嗣治	伊原宛書簡1949/3/11	1949(昭和24)		
20	—	ブルックリン美術学校との覚え書き			
21	—	藤田送別のための寄せ書き			
22	発信者：藤田 嗣治	シャーマン宛書簡：1949年3月13日	1949(昭和24)		
23	発信者：藤田 嗣治	シャーマン宛書簡：1950年1月20日	1950(昭和25)		
24	発信者：藤田 嗣治	シャーマン宛書簡：1950年2月26日	1950(昭和25)		
25	—	藤田家の表札			
26	—	藤田嗣治の頭像			
27	澤田 哲郎	藤田嗣治像	1942(昭和17)	油彩、カンヴァス	15.0×26.5
28	澤田 哲郎	牛	1956(昭和31)	油彩、カンヴァス	16.2×23.0
29	澤田 哲郎	ゆあみ	1957(昭和32)	油彩、カンヴァス	16.2×23.0
30	澤田 哲郎	鳥	1958(昭和33)	油彩、カンヴァス	16.2×23.0
31	澤田 哲郎	枯葉	1959(昭和34)	油彩、カンヴァス	16.2×23.0
32	澤田 哲郎	海辺	1962(昭和37)	油彩、カンヴァス	130.0×89.3
第3章 シャーマンが魅せられた浮世絵					
33	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 けいせい 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
34	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 座頭 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
35	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 大こく 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
36	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 業平 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
37	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 みぶ狂言 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
38	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 祭礼御迎ひ船 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
39	○ 寿好堂 よし国	七変化ノ内 梶原源太 中村芝翫	1826(文政9)	大判錦絵	
40	○ 春曙齋 北頂	岡部伊織 浅尾額十郎	1829(文政12)	大判錦絵	
41	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	市川団十郎		大判錦絵	
42	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	印南数馬 奴袖助 実ハ 大高主殿		大判錦絵	
43	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	右：井筒衆之助 左：清兵衛娘お梅	1857(安政4)	大判錦絵二枚続	
44	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	雁金紺屋文七	1858(安政5)	大判錦絵	
45	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	提婆の仁三 八太夫娘おき代	1858(安政5)	大判錦絵二枚続	

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
46	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	冠者義高 市川市藏 遊女その原 尾上菊次郎	1861(文久元)	大判錦絵	
47	○ 歌川 国貞 (三代豊国)	百姓慈悲蔵 後二直江山城	1861(文久元)	大判錦絵	
48	○ 歌川 国郷	花せみ松山 禿みどり 高鷲米山 実ハ幸蔵	1857(安政4)	大判錦絵	
49	○ 豊原 国周	麻疹元服図	1862(文久2)	大判錦絵二枚続	
50	○ 豊原 国周	右：重扇の音 尾上菊次郎 左：勇婦巴 中村芝翫 木曾義仲 沢村訥升	1876(明治9)	大判錦絵二枚続	
51	○ 豊原 国周	新吉原稲本楼新開図	1877(明治10)	大判錦絵三枚続	
52	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 大星良雄内室 石女	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
53	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 二 山岡覺平の妻 竹女	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
54	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 三 織部金丸の娘 花女	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
55	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 四 斧寺重内妻	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
56	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 五 塩谷家の奥女中 都多の局	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
57	● 歌川 国芳	誠忠義心伝 六 天川屋義兵衛	1847-52(弘化4-嘉永5)	大判錦絵	
58	● 歌川 国芳	見立百人相 浅間左衛門 知恵内 おれん 梅ヶ枝 牛若丸 松若丸		大判錦絵	
59	● 歌川 国芳	墨戦之図	1843(天保14)	大判錦絵三枚続	
60	● 歌川 国貞 (三代豊国)	右：井筒象之助 左：正直清兵衛 むすめお梅	1857(安政4)	大判錦絵二枚続	
61	● 歌川 国貞 (三代豊国)	団七九郎兵衛	1855(安政2)	大判錦絵	
62	● 歌川 国貞 (三代豊国)	伴左衛門 中村芝翫 鹿蔵 市村羽 左衛門	1861(文久元)	大判錦絵	
63	● 歌川 国貞 (三代豊国)	東都最良鏡 伴左衛門 山三 一	1858(安政5)	大判錦絵	
64	● 歌川 国貞 (三代豊国)	東都最良鏡 山川屋権六 奴の小万 三	1858(安政5)	大判錦絵	
65	● 歌川 国貞 (三代豊国)	法華長兵衛 白井権八	1856(安政3)	大判錦絵	
66	● 歌川 国貞 (二代)	俳ゆうまき絵のさかつき 四十八枚 重の内 安部の保名 坂東彦三郎	1863(文久3)	大判錦絵	
67	● 歌川 国貞 (三代)	右：おんな清玄 中村福助 中：猿島惣太 中村芝翫 左：常陸之助 市川権十郎	1886(明治19)	大判錦絵三枚続	
68	● 豊原 国周	幸次郎 沢村訥升	1863(文久3)	大判錦絵	
69	● 豊原 国周	まむしの次郎吉 坂東彦三郎	1864(文久4)	大判錦絵	
70	● 歌川 芳艶	飴売渦松 市村羽左衛門	1861(文久元)	大判錦絵	
71	● 歌川 芳虎(永島孟齋)	新吉原梶田楼遊会図	1878(明治11)	大判錦絵三枚続	
72	藤田 嗣治	ポーズル王の冒険	刊行：1925(大正14)	紙、銅版、木版	23.9×19.2×1.6
73	藤田 嗣治	東方所観	刊行：1925(大正14)	紙、銅版、木版	19.5×13.5×1.5
第4章 戦後の藤田嗣治—フランスでの晩年					
74	藤田 嗣治	家族の肖像	1954(昭和29)	油彩、ボード	17.5×12.5
75	藤田 嗣治	「平和の聖母礼拝堂」完成記念のためのリトグラフ	1966(昭和41)	紙、カラーリトグラフ	37.7×56.3
76	—	「平和の聖母礼拝堂」パンフレット			
77	藤田 嗣治	「平和の聖母礼拝堂」ステンドグラス：聖チェチリア	1966(昭和41)	ガラス、鉛	140.2×65.0

※寸法は、平面作品が縦×横、書籍は縦×横×厚さ

※○は前期 [平成31年3月30日(土)～令和元年5月26日(日)]、●は後期 [令和元年6月8日(土)～7月28日(日)] 展示

※Nos. 12, 21は河村泳静氏蔵、17-19は当館寄託、72-76は当館蔵、それ以外は河村泳静氏所蔵・伊達市教育委員会寄託

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示期間
1	歌川 国貞	浮世五色合 白		木版、紙	36.5×24.8	平成31年3月30日 (土) ~ 令和元年5月26日 (日)
2	歌川 国貞	近世水滸伝 競力富五郎 中村芝翫		木版、紙	36.5×24.8	
3	藤田 嗣治	二人の女	1918(大正7)	油彩、カンヴァス	92.2×73.3	令和元年6月8日 (土) ~ 7月28日 (日)

※寸法は縦×横

※Nos. 1, 3は当館蔵、2は河村泳静氏蔵・伊達市教育委員会寄託

2 来るべき 20 年代に向けて

(同時開催：新収蔵品展／ふれるかたち／この1点を見てほしい。)

会 期：8月10日(土)～11月10日(日)
会 場：北海道立近代美術館 展示室A
主 催：北海道立近代美術館
後 援：札幌市、札幌市教育委員会

来るべき 20 年代に向けて

Novelty of the 1920s Art: Hints for the Coming 20s

1920年代—それは、欧米では二つの大戦に挟まれ、「狂乱／狂騒の時代」と呼ばれた時期にあたる。芸術の領域では前衛的な試みがつぎつぎとなされるともに、ファッションをはじめとする応用芸術も発展した。また日本では、大正から昭和へと移行したこの時代、明治期から流入した西洋文化の影響が広く大衆にも浸透し、近代化とそれに対する批判との相克のなかで、新しい芸術運動が活発に展開されていった。

本展では、つぎの20年代の始まりを目前にした2019年に、北海道立近代美術館のコレクションにより、過去でありながら未来的な新しさを宿すこの時代の諸相を探った。

●展示構成

プロローグ 1920年代前夜

第1章 ファッションの1920年代—装いと身体

第2章 デザインの1920年代—日常化する芸術

第3章 都市と大衆の1920年代—モダニズムの風景

＝同時開催＝

新収蔵品展

New Acquisitions

平成30年度の新収蔵作品から、「北海道の美術」分野の8作家15点をご紹介します。それぞれの作家について簡単に触れておく。

上田公夫(1940-2017)は北海道の現代美術を支えた作家の一人だが、これまで未収蔵であった。岡沼淳一(1944-2019)は北海道を代表する木彫作家の一人だが、未収蔵であった。高森明(1929-2017)は、独立展を主な舞台に長く活動を続けた函館出身の油彩画家で、初収蔵である。深井克美(1948-1978)は、当館での回顧展開催(平成30年度)を契機に3点が寄贈された。上野山清貢(1889-1960)は、戦前戦後の北海道美術にも大きな足跡を残した油彩画家である。小野寺玄(1934-2016)は古窯珠洲焼の焼き締め陶器の研究で知られる陶芸作家。高橋伸(1950生)は独立展を主な舞台に活動を続けている油彩画家で、これまで未収蔵であった。鈴木秀明(1948-2020)は新道展、赤光社を舞台に函館で長く活動を続けている油彩画家で、今回が初収蔵。

なお、この他の新収蔵品については、令和元年度の各展覧会で適宜紹介した。



ふれるかたち

Touching Sculptures

彫刻や立体作品を手で触れて鑑賞する展覧会。鑑賞者自らが作品に触れることで、視覚的イメージを超えた鑑賞を行うことを目的とした。視覚に障害がある方にも楽しんで作品を鑑賞してもらい、幅広い年齢層にも、作品に親しみをもち新たな作品の魅力を発見してもらおうきっかけをつくった。

異なる素材の作品を並べることで、その素材に対する関心や興味を抱いてもらうとともに、近現代作品の多様性に注目してもらった

出品作品は《風》《生誕》など7点。素材の異なる作品を展示する「いろいろなてざわり」コーナーと、同一素材(ブロンズ)を用いた作品を展示する「おなじ?てざわり」コーナーの、2つのコーナーより展示構成を行った。

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

- ・キスリング《オランダの娘》
(展示期間) 8月10日(土)～9月26日(木)
- ・淡島雅吉《しづくガラス タンブラー》
(展示期間) 9月27日(金)～11月10日(日)

●作品展示
日本通運株式会社

●会場造作
株式会社フジヤ

●広報印刷物
ポスター／B2判
チラシ／A4判

印刷：藤田印刷株式会社
デザイン：畠山デザイン制作室

●出品目録

A3版二つ折り4頁（当館簡易印刷）

●関連事業

[ミュージアム・トーク]

テーマ：「バック・トゥ・ザ・フューチャー」

日時：8月17日(土)、11月9日(土) 各15時～15時40分

講師：松山聖央（当館学芸員）

テーマ：「この1点を見てほしい。キスリング《オランダの娘》」

日時：8月31日(土)、9月14日(土) 各10時30分～11時10分

講師：田村允英（当館学芸員）

テーマ：「ふれるかたち」

日時：9月8日(日)、9月22日(日) 各14時～14時30分

講師：石井紗輝（当館学芸員）

テーマ：「この1点を見てほしい。淡島雅吉《しづくガラスタンブラー》」

日時：10月6日(日)、10月20日(日) 各14時～14時30分

講師：村山史歩（当館主任学芸員）

※会場はいずれも展示室A

[子ども鑑賞ツアー]

日時：8月10日(土) 11時～11時30分

講師：石井紗輝（当館学芸員）

日時：8月14日(水) 11時～11時30分

講師：石井紗輝（当館学芸員）

日時：8月15日(木) 11時～11時30分

講師：石井紗輝（当館学芸員）

日時：8月16日(金) 11時～11時30分

講師：石井紗輝（当館学芸員）

日時：9月14日(土) 11時～11時30分

講師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

日時：10月12日(土) 11時～11時30分

講師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

日時：11月9日(土) 11時～11時30分

講師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）

※会場はいずれも展示室A

●主な新聞、雑誌記事等

・北海道新聞

「札幌・近美コレクション」 9月25日(水)

来るべき20年代に向けて 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
プロローグ：1920年代前夜					
1	高島 達四郎	丘からの眺め	1923(大正12)	油彩、カンヴァス	90.5×73.0
2	エミール・ガレ	鯉文花器	1878頃	ガラス：型吹き、エナメル彩	22.8×28.5
3	エミール・ガレ	虫文花器	1889	ガラス：被せガラス、エングレーヴィング	8.5×11.0
4	○ マックス・クリンガー	『手袋』場所	1881	エッチング、アクアチント、紙	22.7×32.7
5	○ マックス・クリンガー	『手袋』行為	1881	エッチング、紙	25.0×18.8
6	○ マックス・クリンガー	『手袋』願望	1881	エッチング、アクアチント、紙	28.3×10.6
7	○ マックス・クリンガー	『手袋』救助	1881	エッチング、紙	14.4×10.4
8	○ マックス・クリンガー	『手袋』凱旋	1881	エッチング、紙	10.9×23.9
9	○ マックス・クリンガー	『手袋』求愛	1881	エッチング、紙	12.2×29.4
10	○ マックス・クリンガー	『手袋』不安	1881	エッチング、紙	10.9×23.8
11	○ マックス・クリンガー	『手袋』平安	1881	エッチング、紙	11.1×23.5
12	○ マックス・クリンガー	『手袋』誘拐	1881	エッチング、アクアチント、紙	8.8×22.0
13	○ マックス・クリンガー	『手袋』愛神 (アモール)	1881	エッチング、紙	10.8×23.8
14	● マックス・クリンガー	『ドラマ』殺人現場	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.9×25.1
15	● マックス・クリンガー	『ドラマ』足取り	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.9×23.8
16	● マックス・クリンガー	『ドラマ』森の中で	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.3×27.8
17	● マックス・クリンガー	『ドラマ』殺人	1883	エッチング、アクアチント、紙	42.5×29.9
18	● マックス・クリンガー	『ドラマ』母親 I	1883	エッチング、アクアチント、紙	42.0×25.8
19	● マックス・クリンガー	『ドラマ』母親 II	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.8×28.2
20	● マックス・クリンガー	『ドラマ』母親 III	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.5×32.0
21	● マックス・クリンガー	『ドラマ』3月の日々 I	1883	エッチング、アクアチント、紙	42.8×33.0
22	● マックス・クリンガー	『ドラマ』3月の日々 II	1883	エッチング、アクアチント、紙	43.7×33.7
23	● マックス・クリンガー	『ドラマ』3月の日々 III	1883	エッチング、アクアチント、紙	41.9×29.2
24	ジュール・パスキン	裸婦の構図	1915	油彩、カンヴァス	46.0×55.0
25	ジュール・パスキン	キュピスト風の女性像	1916	水彩、紙	24.1×12.9
26	アルベール・グレーズ ジャン・メッツァンジェ	『キュビズム論』	刊行：1947	版画、紙	
27	アンドレ・ドラン	マルティグ風景	1908	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
28	キース・ヴァン・ドンゲン	アガーテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩、カンヴァス	100.0×81.0
第1章 デザインの1920年代—日常化する芸術					
29	シュネデル工房	幾何文花器	1920代	ガラス：斑文装飾、被せガラス、エッチング	58.5×21.0
30	シュネデル工房	波に風車文花器	1928	ガラス：エッチング、被せガラス	26.0×59.0
31	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・5頭の馬	型：1925	ガラス：型押し	6.7×15.2×13.1
32	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・勝利	型：1928	ガラス：型押し	11.7×25.0×19.3
33	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・孔雀の頭	型：1928	ガラス：型押し	9.8×14.0×20.2
34	ルネ・ラリック	ラジエータ・キャップ・とんぼ	型：1928	ガラス：型押し	6.6×20.0×20.8
35	ドーム	花器	1930代	ガラス：エッチング	34.2×34.3
36	ルネ・ラリック	花器・バッカスの巫女	型：1927	ガラス：型押し	21.0×24.9
37	ルネ・ラリック	花器—蛇	1924	ガラス：型吹き	25.8×25.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
38	ルネ・ラリック	花器・いばら	1921	ガラス：型吹き	12.0×23.0
39	ルネ・ラリック	羊歯文花器	1920代	ガラス：型吹き	14.5×16.5
40	ドームとルイ・マジョレル	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス：斑文装飾、被せガラス、鉄棒吹込	22.1×28.5
41	ドームとルイ・マジョレル	鉄棒吹込花器	1922頃	ガラス：斑文ガラス、鉄棒吹込み	27.5×26.0
42	ドーム	樹木文花器	1935	ガラス：型吹き、エッチング	27.0×27.0
43	エーヴァルド・ダールスクーグ 製作：コスタ社	蓋付台付鉢・メリーゴーランド	1926	ガラス：型吹き、カット、エングレーヴィング	28.0×38.5
44	エードヴァルド・ハルド 製作：オレフオッシュュ社	鉢・雷雨	デザイン：1922 制作：1953	ガラス：被せガラス、型吹き、エングレーヴィング	14.4×11.2
45	エードヴァルド・ハルド 製作：オレフオッシュュ社	蓋付ゴブレット・ニグロハウス	デザイン：1918 制作：1924	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	13.9×26.1
46	エードヴァルド・ハルド 製作：オレフオッシュュ社	鉢・花火	デザイン：1921 制作：1927頃	ガラス：型吹き、エングレーヴィング	28.0×21.0
47	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 チーチコフの到着	1925	エッチング、紙	22.0×28.6
48	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 知事邸での夜会	1925	エッチング、紙	22.0×28.6
49	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 ペトルーシカ	1925	エッチング、紙	22.0×28.6
50	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 駟者セリファン	1925	エッチング、紙	22.0×28.5
51	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 戸口のマニーロフとチーチコフ	1925	エッチング、紙	28.6×22.1
52	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 マニーロフ邸での食事	1925	エッチング、紙	22.0×28.4
53	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 四輪馬車がひっくり返る	1925	エッチング、紙	22.6×29.7
54	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 コローボチカ夫人	1925	エッチング、紙	30.1×22.8
55	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 道案内	1925	エッチング、紙	28.2×22.3
56	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 ノズドリョフ	1925	エッチング、紙	28.7×23.1
57	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 トランプ	1925	エッチング、紙	21.9×28.5
58	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 警察署長の登場	1925	エッチング、紙	28.5×21.8
59	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 農民たちの群衆	1925	エッチング、紙	21.7×28.3
60	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 ミチャイ小父とミニヤイ小父	1925	エッチング、紙	27.8×21.6
61	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 ソバケーヴィチ	1925	エッチング、紙	21.2×28.0
62	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 食料でみたされた食卓	1925	エッチング、紙	27.5×21.3
63	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 手付金	1925	エッチング、紙	21.4×27.8
64	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 農民との遭遇	1925	エッチング、紙	27.8×21.5
65	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 ブリュエシキンの村	1925	エッチング、紙	21.1×27.5
66	○ マルク・シャガール	『死せる魂』 橋の下で拾い集めるブリュエシキン	1925	エッチング、紙	27.6×20.7
67	● マルク・シャガール	『死せる魂』 ブリュエシキンは酒をすすめる	1925	エッチング、紙	21.5×27.7
68	● マルク・シャガール	『死せる魂』 書類を探すブリュエシキン	1925	エッチング、紙	21.2×27.6
69	● マルク・シャガール	『死せる魂』 ブリュエシキンとマーヴラの口論	1925	エッチング、紙	21.3×27.5
70	● マルク・シャガール	『死せる魂』 ゴーゴリとシャガール	1925	エッチング、紙	27.4×21.0
71	● マルク・シャガール	『死せる魂』 シャツ一枚で勝ち誇るチーチコフ	1925	エッチング、紙	27.6×21.0
72	● マルク・シャガール	『死せる魂』 失態をおかした男の死	1925	エッチング、紙	20.8×27.3
73	● マルク・シャガール	『死せる魂』 行けども行けども果てしないグリゴリー	1925	エッチング、紙	22.0×28.5
74	● マルク・シャガール	『死せる魂』 穀物波止場	1925	エッチング、紙	21.1×27.6
75	● マルク・シャガール	『死せる魂』 外套を着たもの同士、遭遇する	1925	エッチング、紙	27.3×21.8
76	● マルク・シャガール	『死せる魂』 一杯のワイン（賄賂）	1925	エッチング、紙	21.7×27.4
77	● マルク・シャガール	『死せる魂』 パーヴェル・イワーノヴィッチ・チーチコフは旅籠に帰る	1925	エッチング、紙	27.6×21.7
78	● マルク・シャガール	『死せる魂』 舞踏会でのチーチコフの登場	1925	エッチング、紙	22.0×27.6
79	● マルク・シャガール	『死せる魂』 ノズドリョフの暴露	1925	エッチング、紙	27.6×21.0
80	● マルク・シャガール	『死せる魂』 知事夫人は自分の娘を叱る	1925	エッチング、紙	27.6×21.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
81	● マルク・シャガール	『死せる魂』 大宴会は殴り合いになる	1925	エッチング、紙	23.5×27.7
82	● マルク・シャガール	『死せる魂』 裸で逃げだす	1925	エッチング、紙	20.8×27.6
83	● マルク・シャガール	『死せる魂』 死んだ検事	1925	エッチング、紙	20.8×27.7
84	● マルク・シャガール	『死せる魂』 衛兵はチーチコフを通さない	1925	エッチング、紙	27.6×23.5
85	● マルク・シャガール	『死せる魂』 チーチコフの誕生	1925	エッチング、紙	27.5×20.1
86	● マルク・シャガール	『死せる魂』 夕暮れのトロイカ	1925	エッチング、紙	20.8×27.3
87	藤田 嗣治	小牧近江著『詩数篇』	刊行：1919	銅板、木版、紙	21.0×14.7×0.4
88	藤田 嗣治	キク・ヤマタ著『八景』	刊行：1927	銅板、木版、紙	26.2×20.4×2.7
89	藤田 嗣治	キク・ヤマタ抄訳『静御前』	刊行：1929	銅板、木版、紙	19.2×14.5×1.0
90	藤田 嗣治	ピエール・ルイス著『ポーゾル王の冒険』	刊行：1925	銅板、木版、紙	23.9×19.2×1.6
91	ジュル・パスキン	ある夏	刊行：1920	印刷、手彩色、紙	35.6×26.2×1.0
92	ジュル・パスキン	ピエール・マッコルラン著『パリの灯』	刊行：1925	印刷、紙	20.5×15.3×2.3
93	ジュル・パスキン	ポール・モーラン著『夜とざす』 (ed. no. 194)	刊行：1925	エッチング、印刷、紙	25.0×20.1×2.5
94	ジュル・パスキン	ポール・モーラン著『夜とざす』 (ed. no. 316) 挿画より	刊行：1925	エッチング、印刷、紙	24.8×20.4×2.7
95	ジュル・パスキン	ポール・モーラン著『夜とざす』挿画より	刊行：1925	エッチング、水彩、紙	17.0×22.0
96	ジュル・パスキン	ポール・モーラン著『夜とざす』挿画より	刊行：1925	エッチング、水彩、紙	22.0×17.0
97	エルミーヌ・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画	1926	ドライポイント、紙	19.2×14.0
98	エルミーヌ・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画より	1926	エッチング、ドライポイント、紙	12.6×7.7
99	○ エルミーヌ・ダヴィッド	フランソワ・モーリヤック著『ファビアン』挿画より	1926	銅版、紙	12.6×7.7
100	エルミーヌ・ダヴィッド	アンドレ・ビリー著『センチメンタルな郊外』挿画	1928	ドライポイント、紙	13.4×8.7
101	○ エルミーヌ・ダヴィッド	ジャン・ジロドゥー著『感傷的なシモン』挿画	1927	ドライポイント、紙	20.5×14.5
102	エルミーヌ・ダヴィッド	ジャン・ジロドゥー著『感傷的なシモン』挿画	1927	ドライポイント、紙	20.5×14.5
第2章 ファッションの1920年代—装いと身体					
103	キスリング	裸婦	1926	油彩、カンヴァス	73.5×54.8
104	キスリング	晴着の婦人	1925	油彩、カンヴァス	73.0×60.0
105	アンドレ・ドラット	人物文花器	1920代	ガラス:被せガラス、エッチング、エナメル彩	19.5×31.0
106	ペール・クローグ	ローブをまとったテレーズ	1925	油彩、カンヴァス	92.0×60.0
107	キース・ヴァン・ドンゲン	ボドリ・ダッソン侯爵夫人	1919	油彩、カンヴァス	130.5×97.5
108	マリー・ローランサン	婦人像	1920	油彩、カンヴァス	73.5×61.0
109	国吉 康雄	横たわる裸婦	1929(昭和4)	油彩、カンヴァス	101.6×203.2
110	ジュル・パスキン	三人の裸婦	1930	油彩、カンヴァス	81.0×100.0
111	ジュル・パスキン	二人のモデル	1924	油彩、カンヴァス	99.0×80.0
112	○ ジュル・パスキン	腰かける女	1928	油彩、カンヴァス	76.0×63.0
113	● ジュル・パスキン	白いリボンの少女	1928	油彩、カンヴァス	92.0×73.0
114	久本 春雄	手袋の女	1921(大正10)	絹本彩色	103.0×66.0
115	小早川 清	ほろ酔い	1930(昭和5)	木版、紙	52.0×30.0
116	山村 耕花	踊り・上海ニューカルトン所見	1924(大正13)	木版、紙	41.2×28.5
117	碓 伊之助	ふした女	1928(昭和3)頃	木版、紙	26.5×38.7
118	碓 伊之助	フランスの田舎娘	1928(昭和3)	木版、紙	36.5×27.8
119	三岸 好太郎	赤い服の少女	1932(昭和7)	油彩、カンヴァス	65.3×53.0
120	本間 紹夫	少女像	1932(昭和7)	油彩、カンヴァス	53.0×45.0
121	本間 紹夫	室内	1925(大正14)	油彩、カンヴァス	90.5×72.4
122	上野山 清貢	赤衣の少女	1929(昭和4)	油彩、カンヴァス	45.4×37.8
123	三岸 好太郎	陽子像	1927(昭和2)頃	油彩、カンヴァス	53.0×45.5
第3章 都市と大衆の1920年代—モダニズムの風景					
124	ジャン=エミール・ラブルール	市での射撃	1921頃	エングレーヴィング、紙	26.7×22.6
125	ジャン=エミール・ラブルール	ピストロでの夕食	1923	エングレーヴィング、紙	16.0×14.5

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
126	ジャン=エミール・ラブルール	水辺の恋人たち	1925	エングレーヴィング、エッチング、紙	15.4×12.4
127	ジャン=エミール・ラブルール	海水浴場	1928	エングレーヴィング、紙	15.9×11.4
128	ジャン=エミール・ラブルール	雨の日のドライブ	1931	エッチング、紙	11.8×7.8
129	ジャン=エミール・ラブルール	小さな駅	1927	エングレーヴィング、紙	18.1×19.2
130	エルミーヌ・ダヴィッド	パルマ号	1928	ドライポイント、紙	28.3×23.4
131	エルミーヌ・ダヴィッド	パルマ・ド・マリヨルカ号	1928	ドライポイント、紙	36.7×43.6
132	エルミーヌ・ダヴィッド	ロンシャン競馬場でのゴールイン	1932	油彩、カンヴァス	73.0×92.0
133	ジュル・パスキン	アンドレ・サルモンとモンマルトル	1921	油彩、カンヴァスに裏打ちされた紙	195.0×129.8
134	エルミーヌ・ダヴィッド	マルヌ河岸	1922	油彩、カンヴァス	76.3×88.2
135	万 鉄五郎	坂	1919(大正8)	木版、紙	27.0×17.0
136	前川 千帆	『野外小品』酒	1929(昭和4)	リノカット、紙	12.5×12.5
137	前川 千帆	『野外小品』風	1932(昭和7)	リノカット、紙	12.5×12.4
138	前川 千帆	『野外小品』蝶	1929(昭和4)	リノカット、紙	12.5×12.2
139	前川 千帆	『野外小品』パラソル	1929(昭和4)	リノカット、紙	12.7×12.5
140	前川 千帆	『野外小品』テニス	1928(昭和3)	リノカット、紙	13.0×13.0
141	前川 千帆	『野外小品』旗	1928(昭和3)	リノカット、紙	13.0×12.7
142	前川 千帆	『野外小品』蠍星座	1929(昭和4)	リノカット、紙	12.7×12.7
143	前川 千帆	『野外小品』犬	1929(昭和4)	リノカット、紙	12.4×12.2
144	恩地 孝四郎	美人四季(夏)	1927(昭和2)	木版、紙	29.7×23.5
145	恩地 孝四郎	新膚	1932(昭和7)	木版、紙	22.0×14.5
146	恩地 孝四郎	抒情—私は信ずる	1932(昭和7)	木版、紙	19.8×12.1
147		『さとぼろ』 創刊号	1925(大正14)	木版、紙	
148		『さとぼろ』 第2号	1925(大正14)	木版、紙	
149	○	『さとぼろ』 第5号	1925(大正14)	木版、紙	
150	●	『さとぼろ』 第6号	1925(大正14)	木版、紙	
151	○ 外山 卯三郎	座せる女像(『さとぼろ』第6号・10頁に掲載)	1925(大正14)	木版、紙	
152	○ 外山 卯三郎	詩「第四類陽イオン分離検出現象」(『さとぼろ』第6号・208頁に掲載)	1925(大正14)	印刷、紙	
153	● 外山 卯三郎	消極的戦闘母艦(『さとぼろ』第5号・6頁に掲載)	1925(大正14)	木版、紙	
154	● 外山 卯三郎	「女性と夜と男」(舞踊詩)(『さとぼろ』第3号・106-107頁に掲載)	1925(大正14)	印刷、紙	
155	● 伊藤 義輝	白石煉瓦場風景(『さとぼろ』第3号・1頁に掲載)	1925(大正14)	木版、紙	
156	○	『さとぼろ』目次 第3号	1925(大正14)	印刷、紙	
157	○ 西村 真琴	詩と版画「パンヂャラスの禱」(『さとぼろ』第3号・4頁に掲載)	1925(大正14)	木版、紙	
158	● 西村 真琴	『さとぼろ』第5号表紙絵	1925(大正14)	木版、紙	
159	● 本間 紹夫	「應用美術について(一)」(『さとぼろ』第4巻第3号(通巻17号)に掲載)	1927(昭和2)	印刷、紙	31.0×24.0
160	○ 服部 光平	古河講堂	不詳	木版、紙	31.0×24.0
161	○ 服部 光平	詩「野にさまよへば」(『さとぼろ』第4巻第2号に掲載)	1927(昭和2)	印刷、紙	
162	○ 服部 光平	夜(『さとぼろ』第4巻第3号に掲載)	1927(昭和2)	印刷、紙	
163	● 服部 光平	早春風景(『さとぼろ』第22号に掲載)	1928(昭和3)	木版、紙	13.0×12.2
164	● 服部 光平	静物(『さとぼろ』第2号に掲載)	1925(大正14)	木版、紙	10.0×14.5
165	○	『さとぼろ』 第19号	1927(昭和2)	木版、紙	
166	○	『さとぼろ』 第22号	1928(昭和3)	木版、紙	
167	○ 菅野 利助	停車場通りの冬	1928(昭和3)	木版、紙	17.5×17.2
168	● 菅野 利助	果樹園(『さとぼろ』第19号に掲載)	1927(昭和2)	木版、紙	
169	●	詩と蔵書票(Exlibris)(『さとぼろ』第20号に掲載)	1928(昭和3)	木版、印刷、紙	

※No. 16は函館市蔵(北海道立函館美術館寄託)、Nos. 119, 123は北海道立三岸好太郎美術館蔵、その他は当館蔵

※○は前期[令和元年8月10日(土)~9月29日(日)]、●は後期[令和元年10月1日(火)~11月10日(日)]展示

新収蔵品展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	上田 公夫	作品PUC81	1981(昭和56)	プラスチック	42.5×48.0×224.0
2	上田 公夫	作品PUC	1970代後半	プラスチック、鉄	左：47.0×40.0×91.0 中：28.0×8.5×19.0 2個 右：40.0×40.0×95.0
3	岡沼 淳一	霞か雲か	2009(平成21)	埋もれ木 (ニレ)	63.0×40.0×247.0
4	高森 明	裸身	2007(平成19)	油彩、カンヴァス	227.3×162.0
5	高森 明	水門のある風景	1988(昭和63)	油彩、カンヴァス	181.8×227.3
6	深井 克美	熱	1975(昭和50)	油彩、カンヴァス	22.9×16.1
7	深井 克美	石化	1976(昭和51)	油彩、カンヴァス	16.1×22.8
8	深井 克美	ガラス	1977(昭和52)	油彩、カンヴァス	33.4×24.3
9	上野山 清貢	アイヌ翁の肖像	1937(昭和12)	油彩、カンヴァス	116.8×91.2
10	小野寺 玄	炭化練上花生「暁」	1995(平成7)	陶	26.5×38.0
11	小野寺 玄	炭化象嵌花生	2006(平成18)	陶	32.0×41.0
12	高橋 伸	SITUATION	1999(平成11)	油彩、カンヴァス	194.0×162.0
13	高橋 伸	赫月	2011(平成23)	油彩、カンヴァス	194.0×259.0
14	鈴木 秀明	三美神	1992(平成4)	油彩、カンヴァス (3点組)	中央：177.0×117.0 左右：177.0×69.0
15	岡沼 淳一	森を見た日	1995(平成7)	埋もれ木 (ニレ)	223.0×13.5×222.0

※寸法は、平面作品では画面の縦×横、立体作品では奥行×幅×高さあるいは径×高さ

※No. 15は2階ロビーに展示

ふれるかたち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
プロローグ				
1	国松 明日香	VTR モンタージュ #5	1976(昭和51)	シルクスクリーン
2	国松 明日香	IKAROS	1995(平成7)	シルクスクリーン
3	安田 侃	無何有	1983(昭和58)	シルクスクリーン
ふれるかたち				
4	ヤーコブ・アガム	鼓動する心臓 (ムード)	1972	ステンレス、スチール
5	安田 侃	生誕	1974-75(昭和49-50)	大理石
6	国松 明日香	風	1986(昭和61)	鉄
7	中村 木美	紅鎮魂	1979(昭和54)	マクラメ技法、木綿糸
8	渡辺 信	萌芽	1978(昭和53)	ブロンズ
9	加藤 顕清	ペステム (少女)	1957(昭和32)	ブロンズ

※プロローグの作品はふれずに鑑賞するものとした

※作品はすべて当館蔵

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示期間
1	キスリング	オランダの娘	1928	油彩、カンヴァス	100.4×73.4	令和元年8月10日 (土) ~ 9月26日 (木)
2	淡島雅吉	しづくガラス タンブラー	1950 (昭和25) 頃	ガラス：型吹き	6.6×10.5 (2点)	令和元年9月27日 (金) ~ 11月10日 (日)

3 友田コレクション 西洋版画の名品

(同時開催：追悼 松樹路人展／瀧川嘉子展／この1点を見てほしい。)

会 期：11月19日(火)～令和2年3月15日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大により、2月29日(土)～3月15日(日)まで臨時休館

会 場：北海道立近代美術館 展示室A

主 催：北海道立近代美術館

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

友田コレクション 西洋版画の名品

Modern Western Prints from the Tomoda Collection

「友田コレクション」とは、詩人で児童文学者の友田多喜雄氏が北海道の人々に優れた美術作品の鑑賞機会を提供したいとの思いで、長年にわたり私財を投じて収集してきた近現代の名作版画コレクションである。その数は2,000点をゆうに超え、ピカソやシャガール、ミロといった巨匠たちの作品を多く含む、質量ともに個人コレクションとしては第一級の内容となっている。本展はそれらを初めて公開するもので、同氏がとりわけ力を注いで収集してきた西洋近代版画の名品を、会期中の展示替えも含めて約450点を選びすぐって紹介した。

マルク・シャガールが自作の詩を添えた多色刷り木版画〈ボエム〉をはじめ、中世のランプやタロットカードの図柄を研究して制作したアンドレ・ドランの〈パンタグリユエル挿画集〉、パブロ・ピカソの新古典主義時代を代表する銅版画〈メタモルフォーズ〉、ベン・シャーンの晩年の代表作〈リルケ「マルテの手記」より：一行の詩のためには…〉等々、作品はいずれもその独創的な表現から西洋近代版画史上に残る名作が揃う。とりわけ、ジョルジュ・ルオーの作品は〈ミセレーレ〉全58点のほか、〈ユビュおやじの再生〉全22点、〈「悪の華」のために印刷された14図〉全14点など代表作がずらりと並び、見どころのひとつとなった。

※前期：11月19日(火)～2020年1月19日(日)

後期：2020年1月21日(火)～3月15日(日)



=同時開催=

追悼 松樹路人展

ROJIN MATSUKI Exhibition

松樹路人(1927-2017)は、北海道羽幌町出身の戦後日本洋画壇を代表する画家の一人。1950年代から60年代にかけて、構成的な造形表現や、社会的なテーマを描いた作品を残したが、70年代にはそれまでの画風とは決別した白を基調とする静物画や肖像画を制作し、静謐で抒情性に富んだ作風を確立する。80年代以降は身近なモチーフである家族、美術学校、アトリエ、都市空間、北海道の風景を主題とする作品に取り組んだ。2000年代からは、イメージの対象がより作家の心の中に向けられるようになり、作家の心象風景とも言える作品群を生み出していった。

本展では、内奥の世界を見つめ続けた松樹路人の初期から晩年までの画業を絵画や素描17点により紹介した。

●展示構成

- 1 探求の時代
- 2 再出発
- 3 描き続ける

瀧川嘉子展

YOSHIKO TAKIKAWA Exhibition

瀧川嘉子(1937生)は現代日本を代表するガラス彫刻家である。1970年頃から板ガラスの持つ可能性に注目し、試行錯誤の末、1981年には板ガラスによる立体造形の個展「光と迷宮」展を開催。以後20年以上にわたり、工業用板ガラスを積層して構築するという、世界的にもほとんど類例のない独創的な立体作品を制作し、ガラス彫刻の新境地を切り拓いてきた。

本展では、初期から2000年代にいたる彫刻18点に素描・版画を加え、瀧川嘉子の造形世界を紹介した。

●展示構成

- 第1章 光と迷宮
- 第2章 境 KYOH
- 第3章 さらなる探究

この1点を見てほしい。

Enjoy One Special Piece

・ドーム《鹿文花器》
(展示期間) 11月19日(火)～2020年1月16日(木)

・小柴外一《龍香炉》
(展示期間) 2020年1月17日(金)～3月15日(日)

●作品展示
日本通運株式会社

●会場造作
株式会社六書堂

●広報印刷物
ポスター／B2判
チ ラ シ／628×297mm (巻三つ折り、A4判仕上がり)
印 刷：中西印刷株式会社
デザイン：佐藤守功デザイン事務所

●出品目録
A3判4頁 (当館簡易印刷)

●関連事業

[ミュージアム・トーク]

テ ー マ：「友田コレクション 西洋版画の名品」
日 時：12月1日(日)、2月9日(日) 各14時～14時30分
講 師：村山史歩 (当館主任学芸員)

テ ー マ：「追悼 松樹路人展」
日 時：12月8日(日)、2月11日(火・祝) 各14時～14時30分
講 師：田村允英 (当館学芸員)

テ ー マ：「瀧川嘉子展」
日 時：11月23日(土・祝)、2月16日(日) 各14時～14時30分
講 師：苦名 真 (当館学芸部長)

テ ー マ：「この1点を見てほしい。(ドーム)」
日 時：11月24日(日)、12月22日(日) 各14時～14時30分
講 師：松山聖央 (当館学芸員)

テ ー マ：「この1点を見てほしい。(小柴外一)」
日 時：2月2日(日)、2月24日(月・祝)
各14時～14時30分
講 師：苦名 真 (当館学芸部長)
※会場はいずれも展示室A

[子ども鑑賞ツアー]

日 時：12月14日(土) 11時～11時30分
講 師：村山史歩 (当館主任学芸員)

日 時：1月11日(土) 11時～11時30分
講 師：松山聖央 (当館学芸員)

日 時：2月8日(土) 11時～11時30分

講 師：石井紗輝 (当館学芸員)

日 時：3月14日(土) 11時～11時30分 ※中止
講 師：齊藤千鶴子 (当館主任学芸員)
※会場はいずれも展示室A

●主な新聞、雑誌記事等

・北海道新聞
瀧川嘉子「瀧川嘉子という名の実験」 11月19日(火)
「ひと2019 瀧川嘉子さん」 12月17日(火)
「施設休館、イベント延期相次ぐ」 2月28日(金)

・新美術新聞

「追悼 松樹路人展」 12月21日(土)

友田コレクション 西洋版画の名品 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年/刊行年	技法・材質	寸法 (cm)
前期出品作品 [令和元年11月19日 (火) ~令和2年1月19日 (日)]					
1	清水 敦	詩画集 野の花 (8点組)	刊行：1980(昭和55)	メゾチント、紙	16.7×11.5 (紙寸：31.3×23.8)
2 *	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刷された14図 (14点組)	1926-1927/1966	エリオグラヴィュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー他、紙	35.0×25.0
3 *	ジョルジュ・ルオー	ユピュおやじの転生 (22点組)	1928/1932	エリオグラヴィュール、エッチング、アクアチント、ルーレット、シュガー・アクアチント他、紙	30.0×20.0
4 *	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ (58点組)	1922-1927/1948	エリオグラヴィュール、シュガー・アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー、柳炭による磨ぎ出し他、紙	67.0×51.0
5	ジョルジュ・ルオー	『受難』 処刑を手伝う男 (十字架の木材を運ぶ)	1936/1939	シュガー・アクアチント、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、スクレイパー、紙	30.5×21.3
6	アンリ・マティス	ポルトガルの尼僧の手紙 (32点組)	刊行：1946	石版、紙	27.0×20.9
7	アンリ・マティス	アポリネール (8点組)	刊行：1952	アクアチント、石版、紙	35.3×26.5他
8	アンドレ・ドラン	パンタグリユエル挿画集 (42点組)	1941-1943/1943	木版、紙	34.3×28.0
9	ウィリアム・ブレイク	詩：墓 (6点組)	刊行：1808	エングレーヴィング、紙	イメージ：26.5×20.5
10 *	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 (第3集再版) (22点組)	1896/1938	石版、中国紙	イメージ：21.8×13.2 (紙寸：43.8×33.1)
11	マリー・ローランサン	マリアナ (4点組)	刊行：1932	石版、中国紙	29.1×21.1
12	マルク・シャガール	『ラ・フォンテーヌの寓話』 木こりとメルキュール	1927-1930/1952	エッチング、アクアチント	30.3×23.5
13	マルク・シャガール	『ラ・フォンテーヌの寓話』 死と木こり	1927-1930/1952	エッチング、アクアチント、ドライポイント、紙	29.5×24.0
14 *	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ (30点組)	1930-1931/1931	エッチング、紙	15.0×17.5 (紙寸：32.5×25.5)
15	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール Nos. 125-126』より	刊行：1961	石版、紙	38.0×114.0
16	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール Nos. 125-126』より	刊行：1961	石版、紙	38.0×76.0
17	サルバドール・ダリ	『パンタグリユエルの滑稽な夢』 より	刊行：1973	石版、フェルトペン、和紙	88.5×65.8
18	マルク・シャガール	パリのヴィジョン (8点組)	1952/1952	石版、紙	35.3×26.5
19	マルク・シャガール	『聖書』のための挿絵 (29点組 カラー17点)	刊行：1956	石版、アルシュ紙	35.4×26.2他
20	マルク・シャガール	『聖書』のためのデッサン (24点組)	刊行：1960	石版、ヴェラン・ダルシュ紙	35.4×26.2他
後期出品作品 [令和2年1月21日 (火) ~3月15日 (日)]					
1	清水 敦	ふるさとの詩—日本の玩具 (12点組)	刊行：1989(平成元)	メゾチント、紙	8.9×7.0 (紙寸：28.0×19.0)
2 *	ジョルジュ・ルオー	『悪の華』のために版刷された14図 (14点組)	1926-1927/1966	エリオグラヴィュール、シュガー・アクアチント、ドライポイント、スクレイパー、バーニッシャー他、紙	35.0×25.0

No.	作家名	作品名	制作年/刊行年	技法・材質	寸法 (cm)
3 *	ジョルジュ・ルオー	ユビュおやじの転生 (22点組)	1928/1932	エリオグラヴュール、 エッチング、アクアチ ント、ルーレット、 シュガー・アクアチ ント他、紙	30.0×20.0
4 *	ジョルジュ・ルオー	ミセレーレ (58点組)	1922-1927/1948	エリオグラヴュール、 シュガー・アクアチ ント、ルーレット、ドラ イポイント、スクレイ パー、バーニッ シャー、柳炭による磨 ぎ出し他、紙	67.0×51.0
5	フェルナン・レジェ	イリュミナシオン (15点組)	1947/1948	石版、彩色、紙	33.0×24.8
6	マルク・シャガール	ボエム (24点組)	1962-1968/1968	木版、コラーージュ、 ヴェラン・ド・リーヴ 紙	イメージ：32.1×24.6 (紙寸：36.6×28.8)
7	藤田 嗣治	獣一党	刊行：1928	エッチング、ヴェラ ン・ダルシュ紙	5.3×6.5 (書籍：19.3×13.3× 1.3)
8 *	オディロン・ルドン	聖アントワヌの誘惑 (第3集再 版) (22点組)	1896/1938	石版、中国紙	イメージ：21.8×13.2 (紙寸：43.8×33.1)
9	エミール・ノルデ	二匹の空想の動物 (黒と白)	1910	木版、紙	5.0×11.4
10	アンリ・マティス	『顔』より	刊行：1946	石版、紙	33.0×25.5
11	ラウル・デュフィ	タイトル不詳 (詩集のための挿 画)	1916	木版、紙	10.5×10.5
12	ラウル・デュフィ	サン＝タドレス港の水浴者	1920頃	石版、紙	35.0×44.0
13	ジョルジュ・ブラック	地獄へ (4点組)	刊行：1961	石版、紙	32.0×25.5
14	パブロ・ピカソ	『A Los Toros avec Picasso』 闘牛士	刊行：1961	石版、紙	24.4×31.6
15 *	パブロ・ピカソ	メタモルフォーズ (30点組)	1930-1931/1931	エッチング、紙	15.0×17.5 (紙寸：32.5×25.5)
16	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール No. 169』 HAI-KU	刊行：1967	石版、紙	38.0×28.0
17	ジョアン・ミロ	『デリエール・ル・ミロワール No. 169』 FEMMES	刊行：1967	石版、紙	32.3×25.5
18	アントニ・クラヴエ	クラヴエ礼賛 (7点組)	刊行：1958	石版、紙	32.3×25.5
19	サルバドール・ダリ	カサノヴァ (14点組)	刊行：1967	リトグラフ、エン グレーヴィング、エリオ グラヴュール、ドライ ポイント、紙	37.6×27.8
20	ベン・シャーン	リルケ『マルテの手記』より：一 行の詩のためには… (24点組)	刊行：1968	石版、紙	57.3×45.3

※寸法は縦×横

※*は会期中に展示替えを行った

※作品はすべて当館蔵

追悼 松樹路人展 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
探求の時代					
1	松樹 路人	自画像	1943(昭和18)	油彩、カンヴァス	40.9×31.8
2	松樹 路人	S町のある日	1949(昭和24)	油彩、カンヴァス	145.5×112.1
3	松樹 路人	家族	1954(昭和29)	油彩、カンヴァス	115.6×79.3
再出発					
4	松樹 路人	M氏の日曜日	1979(昭和54)	油彩、カンヴァス	193.9×130.3
5	松樹 路人	わが家族の像	1980(昭和55)	油彩、カンヴァス	220.0×130.3
6	松樹 路人	古典風の女	1978(昭和53)	油彩、カンヴァス	192.2×128.6
7	松樹 路人	九月の素描から	1982(昭和57)	油彩、カンヴァス	199.8×215.5
8	松樹 路人	五月のアトリエから—モデルと魚	1983(昭和58)	油彩、カンヴァス	143.8×143.8
9	松樹 路人	美術学校—午後のポーズ	1984(昭和59)	油彩、カンヴァス	128.8×78.8
10	松樹 路人	美術学校—モデルの部屋	1984(昭和59)	油彩、カンヴァス	181.8×227.3
描き続ける					
11	松樹 路人	わたくし像「窓」	1993(平成5)	油彩、カンヴァス	162.1×162.1
12	松樹 路人	懐郷	1997(平成9)	油彩、カンヴァス	180.0×225.8
13	松樹 路人	画学生の休日	2003(平成15)	油彩、カンヴァス	145.5×112.1
14	松樹 路人	若い妊婦	2002(平成14)	水彩、素描、紙	60.5×79.3
15	松樹 路人	今日のメール	2002(平成14)	水彩、素描、紙	79.5×55.0
16	松樹 路人	マントラジョリの「ノートルダム」	2004(平成16)	油彩、カンヴァス	185.0×200.0
17	松樹 路人	描き続ける	2010(平成22)	油彩、カンヴァス	130.3×130.3

※寸法は縦×横

※作品はすべて当館蔵

瀧川嘉子展 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質
1	瀧川 嘉子	光の行方シリーズ「(お日様が) 闇の深みを降りるとき」	2002(平成14)	ジクレ版画、紙
2	瀧川 嘉子	光の行方シリーズ「緑陰に戯れて」	2002(平成14)	ジクレ版画、紙
3	瀧川 嘉子	光の行方シリーズ「夕陽が宿るとき」	2002(平成14)	ジクレ版画、紙
4	瀧川 嘉子	光の行方シリーズ「迷宮が刻む記憶」	2002(平成14)	ジクレ版画、紙
5	瀧川 嘉子	光の行方シリーズ「迷宮の扉」	2002(平成14)	ジクレ版画、紙
6	瀧川 嘉子	ゼロ夢幻	2002(平成14)	ガラス(板ガラス、接着)
第1章 光と迷宮				
7	瀧川 嘉子	光と迷宮 No. 2	1979(昭和54)	ガラス(板ガラス、接着)
8	瀧川 嘉子	光と迷宮 No. 14	1979(昭和54)	ガラス(板ガラス、接着)
9	瀧川 嘉子	光と迷宮 No. 12-B	1980(昭和55)	ガラス(板ガラス、接着)
10	瀧川 嘉子	光と迷宮 No. 27	1981(昭和56)	ガラス(板ガラス、接着)
11	瀧川 嘉子	光と迷宮 No. 31	1982(昭和57)	ガラス(板ガラス、接着)
第2章 境 KYOH				
12	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 1	1985(昭和60)	ガラス(板ガラス、接着)
13	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 3	1985(昭和60)	ガラス(板ガラス、接着)
14	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 7	1986(昭和61)	ガラス(板ガラス、接着)
15	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 53	1993(平成5)	ガラス(板ガラス、接着)、鉄、ステンレス・スチール
16	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 8	1986(昭和61)	ガラス(板ガラス、接着)
17	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 17	1986(昭和61)	ガラス(板ガラス、接着)、白大理石
18	瀧川 嘉子	素描「光と迷宮」シリーズ 1 drawing No. 16	1980(昭和55)	鉛筆、紙
19	瀧川 嘉子	素描「光と迷宮」シリーズ 2 drawing No. 43	1980(昭和55)	鉛筆、紙
20	瀧川 嘉子	素描「Beyond the Door」シリーズ drawing No. 2	1982(昭和57)	鉛筆、紙
21	瀧川 嘉子	素描「Beyond the Door」シリーズ drawing No. 6	1982(昭和57)	鉛筆、紙
22	瀧川 嘉子	素描「Shadow」シリーズ drawing No. 1	1983(昭和58)	鉛筆、紙
23	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 54	1993(平成5)	ガラス(板ガラス、接着)
24	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 46	1990(平成2)	ガラス(板ガラス、接着)
25	瀧川 嘉子	境 KYOH No. 51 あるいは門	1991(平成3)	ガラス(板ガラス、接着)
第3章 さらなる探究				
26	瀧川 嘉子	つわものどものゆめのあと	2002(平成14)	ガラス(板ガラス、接着)、鉛筆
27	瀧川 嘉子	鳥 No. 2	2002(平成14)	ガラス(板ガラス、接着)
28	瀧川 嘉子	Memory Transcendent No. 12	1993(平成5)	ガラス(板ガラス、接着)

この1点を見てほしい。 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	展示期間
1	ドーム	鹿文花器	1925-30頃	ガラス：被せガラス、 型吹き、エッチング	33.0×39.5	令和元年11月19日（火）～ 令和2年1月19日（日）
2	小柴 外一	龍香炉	1963(昭和38)頃	ガラス：パート・ド・ ヴェール	5.9×8.7×12.2	令和2年1月21日（火）～ 3月15日（日）

※寸法は径×高さまたは奥行×幅×高さ

※作品はすべて当館蔵

2-2 展覧会② 特別展

◆特別展一覧

No. (展覧会番号)	展覧会名	開催期間	開催日数	主催・後援等
1 (295)	テレビ北海道開局30周年記念 東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展	令和元年 6月8日(土)～ 7月28日(日)	44日	主 催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、日本経済新聞社、北海道新聞社 後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、札幌商工会議所 特別協力：唐招提寺 協 力：長野県信濃美術館 東山魁夷館
2 (296)	カラヴァッジョ展 天才画家の闇と光	令和元年 8月10日(土)～ 10月14日(月・祝)	57日	主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社 後 援：イタリア大使館、イタリア文化会館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会、北海道日伊協会 協 賛：医療法人さっぽろ脊椎外科クリニック、損保ジャパン日本興亜、大和ハウス工業、トヨタ自動車、野崎印刷紙業 協 力：アリタリア-イタリア航空、日本航空、日本通運、三本珈琲 特別協力：テレビ北海道 学術協力：メタモルフォジ財団
3 (297)	アイヌの美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクション から	令和元年 11月19日(火)～ 令和2年 1月13日(月・祝)	43日	主 催：北海道立近代美術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団 特別協力：日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館 後 援：国土交通省、公益社団法人北海道アイヌ協会
4 (298)	北海道151年のヴァンダーカンマー —《歴史》と《アート》を集めた 《驚異の部屋》へようこそ—	令和2年 1月25日(土)～ 3月15日(日) (2月28日(金)) ※新型コロナウイルス感染拡大により2月29日(土)から会期終了まで臨時休館	44日 (30日)	主 催：北海道立近代美術館 共 催：北海道新聞社 後 援：札幌市、札幌市教育委員会

1 テレビ北海道開局 30 周年記念

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展

Special Exhibition Commemorating the 30th Anniversary of Television

Hokkaido HIGASHIYAMA KAI: Toshodaiji Temple' s Miedo Wall Paintings

会 期：6月8日（土）～7月28日（日）
会 場：北海道立近代美術館 展示室 B
主 催：北海道立近代美術館、テレビ北海道、日本経済新聞社、北海道新聞社
後 援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、札幌商工会議所
特別協力：唐招提寺
協 力：長野県信濃美術館 東山魁夷館

戦後を代表する日本画家・東山魁夷（1908-1999）の深い精神性と豊かな叙情をたたえた風景画は、日本人の自然観や心情を普遍的に表現したものとして高く評価されており、なかでも 10 年の歳月をかけて完成された全 68 面からなる唐招提寺御影堂障壁画は画家の記念碑的大作である。

多くの困難を乗り越え中国から来日し唐招提寺を開基した鑑真和上に捧げるため、日本や中国各地を歩いてスケッチを重ね、幾度も構成を練り、第一期 1975 年に奉納した《山雲》、《濤声》では日本の豊かな自然を描き、第二期 1980 年に奉納した《揚州薫風》、《桂林月宵》、《黄山曉雲》では中国風景を題材に水墨表現に挑み、新境地を開いている。

本展では、唐招提寺御影堂の修理が行われるに際し、通常は非公開となっている障壁画の全貌を再現展示によって紹介するとともに、あわせてスケッチや下絵などを展示して、構想から完成にいたる画家の足跡をたどった。また、映像コーナーや、《緑響く》（1982 年）、《夕星》（1999 年）など長野県信濃美術館所蔵の代表作による特別展示を設け、障壁画制作までの道のりと、以降最晩年にいたる画業の展開を紹介した。

44 日間で 8 万 2 千人を超える観覧者があり、日本画の巨匠、国民的画家と呼ばれる東山魁夷の集大成で、北海道初公開となった御影堂障壁画の魅力が堪能いただいた。



- 展示構成
 - I 章 御影堂障壁画
 - II 章 影堂障壁画への道程（スケッチ、下図、割出図、試作）
- 特別展示 魁夷が歩んだ道

- 図録
 - 縦 300×横 235 mm / 本文 100 ページ
 - 編 集：茨城県立近代美術館

豊田市美術館
日本経済新聞社文化事業部

デザイン：今井千恵子（Rondine）

制 作：コギト

印刷・製本：凸版印刷

発 行：日本経済新聞社

- 広報印刷物
 - ポスター／B 2 判
 - チ ラ シ／A 3 三つ折り
 - 観 覧 券／縦 16.0×横 7.0cm
 - デザイン：佐藤守功デザイン事務所
 - 印 刷：アイワード株式会社
 - 出品目録／A 4

- 作品展示
 - 日本通運株式会社

- 会場造作
 - 株式会社ノムラデュオ
 - 株式会社六書堂

- 関連事業
 - [オープニング記念講演会]
 - 日 時：6月9日（土）14 時～（約 60 分）
 - 講 師：西山明彦氏（律宗管長・唐招提寺八十八世長老）
 - 会 場：当館講堂

- [学芸員による見どころ解説]
 - 日 時：6月15日（土）、7月13日（土） 各日 14 時～（約 60 分）
 - 講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）
 - 会 場：講堂

- [美と食を楽しむランチ&トーク]
 - 日 時：6月19日（水）、25日（火）、7月4日（木）
 - 各日 11 時 30 分～（事前予約制、各回 30 名）
 - 講 師：齊藤千鶴子（当館主任学芸員）
 - 会 場：ホテルオークラ札幌、当館

[学芸員による見どころ解説]

日 時：6月15日(土)、7月13日(土) 各日14時～
(約60分)
講 師：齊藤千鶴子(当館主任学芸員)
会 場：講堂

[カルチャーナイト2019]

東山魁夷展 美術映画上映会「山雲濤声—東山魁夷 唐招提
寺障壁画の記録」
日 時：7月19日(金)①18:00～ ②19:00～
会 場：当館講堂

[特設ライブラリー]

「東山魁夷展～北海道立図書館の蔵書から」
日 時：会期中毎日
会 場：本展出口特設コーナー
共 催：北海道立図書館

●主な新聞・雑誌記事等

・北海道新聞

「東山魁夷 大作の全貌紹介」 6月7日(金)
「鑑真への祈り 深く」土屋孝浩 6月17日(月)
「東山魁夷 集大成の超大作」 6月9日(日)
「東山魁夷作品 潮騒聞こえた」 7月4日(木)
「東山魁夷特別展 入場者5万人に」 7月18日(木)

・毎日新聞

「五感で感じる自然の息吹」 6月19日(水)

東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
I 章 御影堂障壁画						
1	東山魁夷	唐招提寺御影堂障壁画 山雲	1975(昭和50)	紙本彩色	a:192.7×672.1 b:177.5×376.4 c:159.4×245.6 d:311.0×667.5	唐招提寺
2	東山魁夷	唐招提寺御影堂障壁画 濤声	1975(昭和50)	紙本彩色	a:178.4×376.7 b・c:各178.4×279.0 d:178.4×377.2 e:192.7×672.1	唐招提寺
3	東山魁夷	唐招提寺御影堂障壁画 黄山曉雲	1980(昭和55)	紙本墨画	a:180.0×376.5 b:191.5×377.5	唐招提寺
4	東山魁夷	唐招提寺御影堂障壁画 揚州薫風	1980(昭和55)	紙本墨画	a:193.0×377.2 b:178.4×377.2 c・d:各178.4×279.0 e:178.4×377.8 f・g・j:各178.4×180.0 h:178.4×180.3 i:178.4×180.6	唐招提寺
5	東山魁夷	唐招提寺御影堂障壁画 桂林月宵	1980(昭和55)	紙本墨画	a:178.5×379.0 b:178.5×377.0	唐招提寺
6	東山魁夷	鑑真和上坐像厨子絵 瑞光 試作	1980(昭和55)	紙本彩色	25.5×55.2	長野県信濃美術館 東山魁夷館
II 章 御影堂障壁画への道程 (スケッチ、下図、割出図、試作)						
《山雲》のためのスケッチ						
7	東山魁夷	煙雨	1973(昭和48)	紙本彩色	36.2×44.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館
8	東山魁夷	流れる霧	1973(昭和48)	紙本彩色	31.3×44.4	長野県信濃美術館 東山魁夷館
9	東山魁夷	瀧の音	1973(昭和48)	紙本彩色	33.2×46.2	長野県信濃美術館 東山魁夷館
10	東山魁夷	山雲	1973(昭和48)	紙本彩色	33.1×46.1	長野県信濃美術館 東山魁夷館
11	東山魁夷	霧深き谷	1973(昭和48)	紙本彩色	36.1×51.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
12	東山魁夷	朝雲	1973(昭和48)	紙本彩色	33.1×46.1	長野県信濃美術館 東山魁夷館
13	東山魁夷	深山の樹	1973(昭和48)	紙本彩色	33.4×46.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
14	東山魁夷	緑の溪	1973(昭和48)	紙本彩色	33.1×46.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
《山雲》下図、割出図、試作						
15	東山魁夷	山雲 小下図 (20分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:20.3×39.2 b:21.6×106.3 c:21.5×106.4	長野県信濃美術館 東山魁夷館
16	東山魁夷	山雲 中下図 (5分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:40.5×136.3 b:38.0×130.8 c:60.7×131.7	長野県信濃美術館 東山魁夷館
17	東山魁夷	山雲 割出図 (5分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:39.7×136.0 b:39.8×129.8 c:47.7×132.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
18	東山魁夷	山雲 試作	1974(昭和49)	紙本彩色	a:37.2×132.0 b:34.5×74.2 c:31.4×49.2 d:56.7×129.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
《濤声》のためのスケッチ						
19	東山魁夷	朝濤	1973(昭和48)	紙本彩色	33.3×55.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
20	東山魁夷	波頭	1973(昭和48)	紙本彩色	31.4×51.6	長野県信濃美術館 東山魁夷館
21	東山魁夷	渚にて	1973(昭和48)	紙本彩色	32.8×55.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
22	東山魁夷	松濤	1973(昭和48)	紙本彩色	55.0×55.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
23	東山魁夷	海風	1973(昭和48)	紙本彩色	38.0×55.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
24	東山魁夷	潮騒	1973(昭和48)	紙本彩色	36.0×51.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
25	東山魁夷	松と岩	1973(昭和48)	紙本彩色	33.2×46.1	長野県信濃美術館 東山魁夷館
26	東山魁夷	渚の波紋	1973(昭和48)	紙本彩色	36.4×51.1	長野県信濃美術館 東山魁夷館
《濤声》下図、割出図、試作						
27	東山魁夷	濤声 小下図(20分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:21.7×106.4 b:21.7×106.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
28	東山魁夷	濤声 中下図(5分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:37.6×135.3 b:40.7×136.4 c:37.7×135.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館
29	東山魁夷	濤声 割出図(5分の1)	1973(昭和48)	紙本彩色	a:39.6×137.3 b:39.7×135.7 c:39.8×135.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
30	東山魁夷	濤声 試作	1974(昭和49)	紙本彩色	a:33.8×133.5 b:33.8×133.0 c:37.2×132.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
《揚州薫風》のためのスケッチ						
31	東山魁夷	揚州所見	1976(昭和51)	紙本墨画	21.3×30.2	長野県信濃美術館 東山魁夷館
32	東山魁夷	煙雨	1976(昭和51)	紙本墨画	27.0×35.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館
33	東山魁夷	瘦西湖	1976(昭和51)	紙本墨画	24.5×37.2	長野県信濃美術館 東山魁夷館
34	東山魁夷	柳樹 A	1976-77 (昭和51-52)	紙本墨画	29.0×44.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館
35	東山魁夷	柳樹 C	1976-77 (昭和51-52)	紙本墨画	29.2×42.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
36	東山魁夷	柳樹 G	1976-77 (昭和51-52)	紙本墨画	33.6×49.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
《桂林月宵》のためのスケッチ						
37	東山魁夷	万山水明	1976(昭和51)	紙本墨画	32.3×44.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
38	東山魁夷	桂林大観	1976(昭和51)	紙本墨画	33.0×42.6	長野県信濃美術館 東山魁夷館
39	東山魁夷	桂林奇峰	1976(昭和51)	紙本墨画	26.0×36.7	長野県信濃美術館 東山魁夷館
40	東山魁夷	桂林の月	1976(昭和51)	紙本墨画	24.3×35.4	長野県信濃美術館 東山魁夷館
41	東山魁夷	水光	1976(昭和51)	紙本墨画	25.5×36.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
42	東山魁夷	灘江漁火	1976(昭和51)	紙本墨画	26.7×37.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
《黄山曉雲》のためのスケッチ						

No.	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法	所蔵先
43	東山魁夷	蓬萊三島	1978(昭和53)	紙本墨画	30.5×43.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
44	東山魁夷	雲中層嶂	1978(昭和53)	紙本墨画	27.0×41.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
45	東山魁夷	黄山雨収	1978(昭和53)	紙本墨画	29.0×41.3	長野県信濃美術館 東山魁夷館
46	東山魁夷	白雲重疊	1978(昭和53)	紙本墨画	26.5×40.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
47	東山魁夷	群れ立つ石峰	1978(昭和53)	紙本墨画	31.0×42.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
48	東山魁夷	黄山旭日	1978(昭和53)	紙本墨画淡彩	30.5×43.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
49	東山魁夷	仙境	1978(昭和53)	紙本墨画	31.8×42.8	長野県信濃美術館 東山魁夷館
50	東山魁夷	暮靄	1978(昭和53)	紙本墨画	30.8×45.8	長野県信濃美術館 東山魁夷館
特別展示 魁夷が歩んだ道						
1	○ 東山魁夷	花明り(習作)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	58.0×47.6	長野県信濃美術館 東山魁夷館
2	○ 東山魁夷	祇園まつり(スケッチ)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	27.0×36.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
3	○ 東山魁夷	照紅葉(習作)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	35.9×50.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
4	○ 東山魁夷	散り紅葉(スケッチ)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	31.0×44.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
5	○ 東山魁夷	年暮る(習作)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	38.4×55.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
6	○ 東山魁夷	石の窓	1971(昭和46)	紙本彩色	114.0×166.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
7	東山魁夷	春を呼ぶ丘(習作)	1972(昭和47)	紙本彩色	33.0×46.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
8	○ 東山魁夷	緑響く	1982(昭和57)	紙本彩色	84.0×116.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
9	● 東山魁夷	春静(習作)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	33.0×46.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
10	● 東山魁夷	夏に入る(習作)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	36.5×51.5	長野県信濃美術館 東山魁夷館
11	● 東山魁夷	東福寺庭(スケッチ)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	33.0×41.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
12	● 東山魁夷	鳶もみじ(スケッチ)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	27.0×41.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
13	● 東山魁夷	雪の石庭(スケッチ)	1964-66 (昭和39-41)	紙本彩色	31.0×44.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
14	● 東山魁夷	窓	1971(昭和46)	紙本彩色	130.0×195.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館
15	● 東山魁夷	夕星	1999(平成11)	麻布彩色	66.0×100.0	長野県信濃美術館 東山魁夷館

※○は前期 [令和元年6月8日(土)～7月3日(水)]、●は後期 [令和元年7月4日(木)～7月28日(日)] 展示

2 カラヴァッジョ展 天才画家の闇と光

Caravaggio 2019-20

- 会 期：8月10日(土)～10月14日(月)
会 場：北海道立近代美術館 展示室B
主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社
後 援：イタリア大使館、イタリア文化会館、北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道PTA連合会、北海道小学校長会、北海道中学校長会、北海道高等学校長協会、北海道私立中学高等学校協会、北海道私立専修学校各種学校連合会、北海道日伊協会
協 賛：医療法人札幌脊椎外科クリニック、損保ジャパン日本興亜、大和ハウス工業、トヨタ自動車、野崎印刷紙業
協 力：アリタリア-イタリア航空、日本航空、日本通運、三本珈琲
特別協力：テレビ北海道
企画協力：メタモルフオジ財団

北海道で初めてとなるカラヴァッジョ展を開催した。日本国内でも2001年(東京、岡崎)、2016年(東京)に続く3度目の展覧である。

16世紀末から17世紀初頭に活躍し、わずか38年10ヶ月という夭折の生涯ながら、西洋美術史に大変革をもたらしたイタリアの天才ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ(1571-1610)は、緻密な自然観察と迫真の写実、強烈な明暗、巧妙な画面構成、斬新な視点と劇的な表現等により、17世紀バロック絵画の幕開けを告げ、新時代への潮流を導いた革命児であった。死後その業績が軽視された時期があったものの、20世紀半ばからの再評価と近年の研究の深まりにより、世界的にもその人気の高まりは著しい。一方で、華々しい活躍と名声を得ながらも、気性の荒さや素行の乱れ、ついには殺人を犯して流浪したこの画家の人生には、栄光とともに狂乱や無頼の伝説もまたつきまといがちである。

本展では、イタリア国内の所蔵作品を中心に、日本初公開を含むカラヴァッジョ作品約10点(帰属作品含む)に加え、同時代に活躍したライヴァル画家や、カラヴァッジョに影響を受けた様式を展開した画家たち(カラヴァッジェスキ)の作品など、あわせて約40点を、彼の波乱に富んだ画業の歩みをあらためてたどりながら、ローマでの活躍、引き続き流転、その影響の広がり、3章による構成で展覧し、神話化・伝説化したカラヴァッジョ像にとどまらず、彼の絵画の本質を見直そうとするものであった。

同時代の詩人から「前代未聞の驚き(メラヴィリア)を作り出す」と評されたカラヴァッジョだが、この札幌展では会期直前にイタリアからの作品輸出承認手続きが不調となり、カラヴァッジョ作品2点を含む計8作品が未着となり、33点での開幕となった。会期中途での到着を待って、作品の展示予定位置には写真と未着の旨を掲示するという異例の展示を行い、観覧者にはそれら8点が到着後に再入場可能とする措置をとることとした。これもまた前代未聞である。そして結局、再承認の手続きは捗らず、会期末3週間前に未着作品の展示は断念し、33点の展示のままで会期を終えた。再入場もそのまま有効とし、展示断念以降の観覧者には、カラヴァッジョ作品のポストカード2枚を進呈した。

なお、その後の巡回展に向けて代替作品を選定・追加し、名古屋展・大阪展とも計40点の展示となっている。図録も再編集し、2版、3版を作成した。



●展示構成

- 0 天才画家の出発(カラヴァッジョ、ミラノに生まれる)
- I 1600年前後のローマにおけるカラヴァッジョと同時代の画家たち(カラヴァッジョ、ローマに登場)
- II カラヴァッジョと17世紀末のナポリ画壇(カラヴァッジョ、さすらいの旅へ)
- III カラヴァッジョ様式の拡がり(カラヴァッジョ死すとも…)

●巡回展

- ・名古屋市美術館
令和元年10月26日(土)～令和元年12月15日(日)
- ・あべのハルカス美術館
令和元年12月26日(木)～令和2年2月16日(日)

●図録

縦280×横225mm / 240ページ / ソフトカバー、並製本
執 筆：小佐野重利(東京大学)、ルイーダ・フィカッチ(ローマ保存修復高等研究所)、ピエールルイーダ・カローファノ(シエナ大学)、ジュリア・シルヴィア・ギア(ニュージャージー市立大学)、ミーナ・グレゴリー(フィレンツェ大学、ロベルト・ロンギ美術史研究財団)、ラファエッラ・モルセッリ(テラモ大学)、ジュゼッペ・ピンナ、ニコセッタ・ロイオ、ヘルヴァルト・レットゲン(シュトゥットガルト大学)、ニコラ・スピノザ、ルドヴィカ・トレッツァーニ、伊藤拓真(神戸女学院大学)、木村太郎(大阪芸術)

大学)、劔持あずさ(跡見学園女子大学)、永井裕子(日本学術振興会特別研究員、浅川真紀(あべのハルカス美術館)、田村允英(北海道立近代美術館)、地家光二(北海道立近代美術館)、保崎裕徳(名古屋市美術館)、森本陽香(名古屋市美術館)

責任編集:小佐野重利

編集補佐:木村太郎

編集:北海道立近代美術館、名古屋市美術館、あべのハルカス美術館、北海道新聞社

翻訳:リッカルド・アマデイ、伊藤拓真、木村太郎、劔持あずさ、永井裕子

デザイン:馬面俊之

製作:インターパブリカ

印刷:野崎印刷紙業

発行:北海道新聞社

(初版8月/第2版10月/第3版12月)

●広報印刷物

ポスター/B2判

チラシ/A3二つ折り

観覧券/縦19.0×横7.0cm(共通券)、縦16.5×横7.0cm(共通券以外)

出品目録/A4判

デザイン:RAM

印刷:野崎印刷紙業株式会社

●作品展示

日本通運

●会場設営

株式会社六書堂

●コンサベーション

森直義(森絵画保存修復工房)

田口かおり(森絵画保存修復工房)

●関連事業

[オープニング記念講演会]

「カラヴァッジョー時代の申し子あるいは挑戦者ー」

日時:8月10日(土)13時30分~15時

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:小佐野重利氏(東京大学名誉教授、本展監修者)

[特別講演会]

「カラヴァッジョの絵画の革新性と本展の見どころ」

日時:8月17日(土)13時30分~15時

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:木村太郎氏(大阪芸術大学、神戸女学院大学非常勤講師)

[講演会]

「とっておきイタリア美術」

日時:9月1日(日)13時30分~14時30分/15時30分~16時30分

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:ヤマザキマリ氏(漫画家、随筆家)

[特別講演会]

「カラヴァッジョ芸術の革新性」

日時:12月23日(月・祝)11時~12時30分/13時30分~15時

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:宮下規久朗氏(神戸大学大学院人文学研究科教授)

[特別トーク]

「カラヴァッジョゆかりの地を訪ねて」

日時:8月24日(土)13時30分~14時30分

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:土屋孝浩氏(北海道新聞社文化部編集委員)

[学芸員による展覧会まるかじりガイド]

「カラヴァッジョ劇場/天才画家の闇と光」

日時:9月7日、14日、21日(土)各15時~16時

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:9/7=地家光二(当館上席専門員)

9/15=田村允英(当館学芸員)

9/21=地家光二(当館上席専門員)

[特別セミナー](カラヴァッジョ生誕祭)

「カラヴァッジョに気をつけろ!」

日時:9月29日(土)15時~16時

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:地家光二(当館上席専門員)

[講座(道新文化センター)]

「100倍楽しむカラヴァッジョ展」

日時:7月4日(金)13時~14時30分/15時30分~17時

会場:北海道新聞社

講師:地家光二(当館上席専門員)

[講座(道新ぶんぶんクラブ)]

「カラヴァッジョ展ー光と闇の真実」

日時:8月21日(水)、9月11日(火)
各日13時30分~14時30分

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:8/21=田村允英(当館学芸員)

9/11=地家光二(当館上席専門員)

[講座(北海道新聞さとほろ会夜間鑑賞会)]

「神か、怪物か。ーカラヴァッジョの魅力」

日時:9月6日(金)17時~17時50分

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:地家光二(当館上席専門員)

[講座(カラヴァッジョ展ワインの夕べ)]

「ここが気になるカラヴァッジョ」

日時:9月7日(土)17時45分~18時15分

会場:当館講堂(聴講無料)

講師:地家光二(当館上席専門員)

[ランチ&トーク]

「カラヴァッジョ展 美と食を楽しむランチ&トーク」

日時:8月20日(火)、8月28日(水)、9月5日(木)
各日11時30分~

会場:ホテルオークラ札幌、当館展示室B

講師:8/20=地家光二(当館上席専門員)

8/28=田村允英(当館学芸員)

9/5=地家光二（当館上席専門員）

[カラヴァッジョ生誕祭上映会]（1）

「思っきりローマ！～映像・映画で訪れる魅惑の都」

日 時：9月28日（土）①10時30分 ②13時30分

会 場：当館講堂（入場無料）

上映作品：①「世界遺産～ローマ市街/ヴァティカン/マルタ」（42分・VHS）
②「ローマの休日」（*機器不調のため途中で上映中止）

[カラヴァッジョ生誕祭上映会]（2）

「美のイタリア！～天才画家たちの饗宴」

日 時：9月29日（土）①10時30分 ②13時30分

会 場：当館講堂（入場無料）

上映作品：①「レオナルド・ダ・ヴィンチ/ティツィアーノ」（『世界・美の旅』より/60分・VHS）
②「ボッティチェリ/フィリッポ・リッピ/カラヴァッジョ」（『美の美』より/42分 VHS）

[パネル展]

「会いに行けるカラヴァッジョ！」

日 時：7月3日（火）～4日（水）

会 場：北海道庁1階道政広報コーナー（観覧無料）

展示内容：展覧会見どころ紹介パネル（A1～B2）約20点（主要作品紹介・解説、作家紹介・略歴、ポスター、イラスト等）

[夏のワークショップ2019連動展示]

「光と闇で超リアル！“フォトジェニックなシーンを撮ろう」

会 期：8月28日（水）～10月14日（月）

会 場：当館ホール特設コーナー

展示内容：「カラヴァッジョ展」開催記念として実施した夏のワークショップ(8/24)の参加者制作作品25点を展示。

[映像で見るカラヴァッジョ]

「カラヴァッジョ～その生涯と芸術」（日経映像制作・約6分）

日 時：会期中毎日

会 場：当館ホール

[特設ライブラリー]

「深める・親しむ～カラヴァッジョ展」

会 期：会期中

会 場：本展出口特設コーナー

共 催：北海道立図書館

内 容：カラヴァッジョおよび西洋美術に関する図書・雑誌等52冊（北海道立図書館蔵書）を展示、閲覧利用

●主な新聞・雑誌記事等

[新聞]

・北海道新聞

「カラヴァッジョ 闇と光と」土屋孝浩（日曜版連載）

①世界が注目 6月30日（日）

②ゼロからの出発 7月7日（日）

③殺人で死刑宣告 7月14日（日）

④マルタの騎士に 7月21日（日）

⑤脱獄 7月28日（日）

⑥謎の最期 8月4日（日）

「カラヴァッジョ展 漫画家ヤマザキマリさんに聞く」

ヤマザキマリ（談） 8月6日（火）

「カラヴァッジョ展 400年前の“リアル”にびっくり！」

平野薫 8月9日（金）

「カラヴァッジョの誘惑 ①～⑥」（出品作品解説）

①〈病めるバックス〉田村允英 8月13日（火）

②〈リュート弾き〉田村允英 8月14日（水）

③〈法悦のマグダラのマリア〉田村允英 8月15日（木）

④〈歯を抜く人〉田村允英 8月16日（金）

⑤〈洗礼者聖ヨハネ〉田村允英 8月19日（月）

⑥〈ホロフェルネスの首を斬るユディト〉地家光二

8月20日（火）

「カラヴァッジョ作品 訴えかける視線 解説にも工夫」

土屋孝浩 8月16日（金）

「卓上四季（カラヴァッジョ展）」 8月22日（木）

「表情リアル カラヴァッジョ展」元井麻里子 9月14

日（土）道新まなぶん

「カラヴァッジョ展 『怖い絵』中野京子さんが鑑賞」土

屋孝浩 9月17日（火）

「日常のなかの非日常 カラヴァッジョの名を耳にする

と」酒井忠康 9月23日（月）

「カラヴァッジョ展 彫刻家安田侃さん鑑賞」久才秀樹

9月24日（火）

・毎日新聞

「一筆半歩 歓迎カラヴァッジョ展」三本木香 8月25

日（日）

[放送]

・NHK Eテレ

「日曜美術館 アートシーン」 9月8日（日）

・テレビ北海道

「スイッチン」 9月21日（土）会場中継

出演：田村允英（当館学芸員）

・FMノースウエーブ 9月28日（土）会場中継

出演：田村允英（当館学芸員）、増井航平（北海道新聞社）

カラヴァッジョ展 出品目録

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵	備考
I 1600年前後のローマにおけるカラヴァッジョと同時代の画家たち							
1	ハートフォードの画家／ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ(?)	花瓶の花、果物および野菜	1605-06頃 より前	油彩、カンヴァス	105.0×184.0	ローマ、ボルゲーゼ美術館	
2	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	病めるバッカス	1594頃	油彩、カンヴァス	67.0×53.0	ローマ、ボルゲーゼ美術館	
3	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	女占い師	1596-97頃	油彩、カンヴァス	115.0×150.0	ローマ、カピトリノー絵画館	*不展示
4	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	リュート弾き	1596-97頃	油彩、カンヴァス	96.0×121.0	個人蔵	
5	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	メドゥーサの盾 (第一ヴァージョン)	1596-98頃	油彩、カンヴァス、ポプラを素材とする凸型の円形盾	直径48.0-50.0	個人蔵	
7	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	瞑想するアッシジの聖フランチェスコ	1605-1606	油彩、カンヴァス	123.0×92.5	カルピネート・ロマーノ、サン・ピエトロ聖堂 (ローマ、バルベリーニ宮国立古典美術館に寄託)	*不展示
10	アンニーバレ・カラッチ	笑う若者の頭部	1580代	油彩、カンヴァスに裏打ちされた紙	43.0×29.0	ローマ、ボルゲーゼ美術館	
特別出品	オラツィオ・ローミ・ジェンティレスキ	聖母子 (イエスを待ち受ける悲劇を感じとる聖母)		油彩、カンヴァス	138.0×98.0	個人蔵	
12	ジョヴァンニ・バリオーネ	聖ペテロの悔悛	1606	油彩、カンヴァス	219.0×145.0	トリノ、サバウダ美術館	
13	ジュゼッペ・チェーザリ 通称カヴァリエーレ・ダルピーノ	裸の男たちに助けられて急流を渡るディアナとニンフたち	1621-22	油彩、板	55.5x45.5	個人蔵	
14	アンティヴェドゥート・グラマティカ	宝飾品を身につけた若い女性の半身像		油彩、カンヴァス	50.0×38.0	個人蔵	
15	アンティヴェドゥート・グラマティカ	清純の寓意	1620頃	油彩、カンヴァス	73.5×59.5	個人蔵	
16	オラツィオ・ボルジャンニ	自画像	1607-10頃	油彩、カンヴァス	65.4×50.2	ローマ、サン・ルカ国立アカデミー	
17	グイド・レーニ	フォルトゥナ (運命の女神)	1637頃	油彩、カンヴァス	165.0×135.0	ローマ、サン・ルカ国立アカデミー	*不展示
18	17世紀前半の不詳画家	聖トマスの不信 (カラヴァッジョ作品からの模写)	1610頃-66	油彩、カンヴァス	108.5×146.0	フィレンツェ、ウフィツィ美術館	
II カラヴァッジョと17世紀のナポリ画壇							
19	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	法悦のマグダラのマリア	1606	油彩、カンヴァス	107.5×98.0	個人蔵	
20	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	聖アガピトゥスの殉教	1606-09頃	油彩、カンヴァス	116.0×98.0	パレストリーナ (ローマ)、司教区博物館	

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵	備考
21	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	聖セバスティアヌス	1606	油彩、カンヴァス	170.0×120.0	個人蔵	
22	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	歯を抜く人	1608-10頃	油彩、カンヴァス	139.5×194.5	フィレンツェ、ウフィツィ美術館群 パラティーナ美術館	
23	バッティステッロ・カラッチョロ (本名ジョヴァン・バッティスタ・カラッチョロ)	キリストの洗礼	1610頃	油彩、カンヴァス	113.0×136.0	ナポリ、ジロラミーニ教会絵画館	
24	バッティステッロ・カラッチョロ (本名ジョヴァン・バッティスタ・カラッチョロ)	子どもの顔あるいは幼い洗礼者聖ヨハネ	1607-10頃	油彩、カンヴァス	62.0×49.0	ナポリ、市立フィランジェリ美術館	
25	ルイ・フィンソン	聖セバスティアヌス	1606-07頃	油彩、カンヴァス	112.5×78.5	個人蔵	
26	フィリッポ・ヴィターレ	ホロフェルネスの首を斬るユディト	1635頃	油彩、カンヴァス	126.0×154.0	個人蔵	
27	ジュゼペ・デ・リペーラ	会則を受け取る聖ブルーノ	1643	油彩、銅板	38.0×28.0	ナポリ、サン・マルティナーノ修道院・美術館	
28	ジュゼペ・デ・リペーラ	洗礼者聖ヨハネの首	1646	油彩、カンヴァス	68.0×77.0	ナポリ、市立フィランジェリ美術館	
29	ジュゼペ・デ・リペーラ	聖ヒエロニムス	1651	油彩、カンヴァス	121.0×100.0	ナポリ、サン・マルティナーノ修道院・美術館	
30	ジュゼペ・デ・リペーラ	エジプトの聖マリア	1651-52頃	油彩、カンヴァス	111.0×93.0	ナポリ、市立フィランジェリ美術館	*不展示
Ⅲ カラヴァッジョ様式の拡がり							
31	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ	洗礼者聖ヨハネ	1609-10	油彩、カンヴァス	159.0×124.0	ローマ、ボルゲーゼ美術館	
32	ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ (?)	横たわる洗礼者聖ヨハネ		油彩、カンヴァス	107.0×143.0	個人蔵	
34	パオロ・ガイドッティ	ゴリアテの首を持つダヴィデ	1608	油彩、カンヴァス	97.0×73.0	ローマ、サン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ聖堂	
35	バルトロメオ・マンフレディ	イサクの犠牲	1610頃	油彩、カンヴァス	180.0×130.0	ローマ、ジェズ聖堂	*不展示
36	バルトロメオ・マンフレディ	カインとアベル	1620頃	油彩、カンヴァス	171.0×122.0	フィレンツェ、ウフィツィ美術館群 パラティーナ美術館	
37	バルトロメオ・マンフレディ周辺の画家	荊冠のキリスト	1610-20頃	油彩、カンヴァス	115.0×175.0	トリノ、サバウダ美術館	
38	ニコラ・レニエ	紳士の肖像		油彩、カンヴァス	69.0×56.0	個人蔵	
39	ジョヴァンニ・フランチェスコ・グエリエーリ	ロトと娘たち	1617	油彩、カンヴァス	142.0×164.5	ローマ、ボルゲーゼ美術館	
40	ヴァランタン・ド・ブローニュー	洗礼者聖ヨハネ	1628-29	油彩、カンヴァス	130.0×90.0	カメリーノ、サンタ・マリア・イン・ヴィア聖堂	*不展示

No.	作家	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	所蔵	備考
41	ジョヴァンニ・フランチェスコ・バルビエーリ 通称グエルチーノ	聖マタイと天使	1621-22頃	油彩、カンヴァス	120.0×179.0	ローマ、カピトリノー 絵画館	*不展示
42	ヘリット・ファン・ホントホルスト	蝋燭の灯で本を読む聖ヨセフ	1619-20頃	油彩、カンヴァス	76.0×99.0	ローマ、サン・フラン チェスコ・ア・リー バ・グランデ修道院	*不展示
43	オラツィオ・リミナルディ	ゴリアテの首を持つダヴィデ	1615-20頃	油彩、カンヴァス	100.0×80.0	トリノ、サバウダ美術館	
44	オラツィオ・リミナルディ	イカロスに翼を取り付ける ダイダロス		油彩、カンヴァス	132.0×99.0	個人蔵	
45	作者不詳	ミケランジェロ・メリー ジ・ダ・カラヴァッジョの 肖像	1617頃	油彩、カンヴァス	59.0×46.5	ローマ、サン・ルカ 国立アカデミー	

※寸法は縦×横

※No. は図録（初版）の掲載番号を示す。欠番は他会場のみの出品等

3 アイヌの美しき手仕事 柳宗悦と芹沢銈介のコレクションから

The Beauty of AINU Handiwork: From the Collections of Yanagi Soetsu and Serizawa Keisuke

会 期：11月19日(火)～令和2年1月13日(月) 44日間
会 場：北海道立近代美術館 展示室B
主 催：北海道立近代美術館、公益財団法人アイヌ民族文化財団
特別協力：日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館
後 援：国土交通省、公益社団法人北海道アイヌ協会

民藝運動の提唱者で思想家の柳宗悦(本名・むねよし、^{やなぎそうえつ}1889-1961)は、民衆の暮らしから生まれた実用品にこそ健やかな美があるとしてアイヌ文化に着目し、自身が館長を務める日本民藝館で、「アイヌ工芸文化展」を開催した。柳が東京に日本民藝館を創設して5年目の1941(昭和16)年秋のことであった。作品選定と陳列を任されたのは、柳を師と仰いだ染色家で人間国宝の芹沢銈介(1895-1984)で、染織、木工芸など600点を紹介。これが芸術的観点からアイヌの造形美を取り上げた最初の展覧会となった。

柳は、さらに「彼等の手工藝品を通し、如何に其の文化に驚嘆すべき一面があるかを紹介」したいと、雑誌『工藝』(アイヌ号/106号、107号)で特集。その中でアイヌの手仕事を「啻に美しいのみならず、立派でさえあり、神秘でさえあり、其の創造の力の容易ならぬものを感じる」とその造形世界を高く評価したのである。

「アイヌ工芸文化展」に展示されたアイヌコレクション(杉山寿栄男蒐集)の多くは、残念ながら戦災で灰燼と化した。アイヌの美に魅せられた柳宗悦と芹沢銈介は、その後、多くのアイヌ資料を集め、それらは現在、日本民藝館、静岡市立芹沢銈介美術館などに受け継がれている。

この展覧会では、柳宗悦と芹沢銈介の眼によって蒐集されたコレクションを中心に雑誌『工藝』(アイヌ号/107号)でアイヌ書誌を編纂した式場隆三郎資料や、北海道と民藝にかかわる文献資料を含め、約270点を展示し、壮麗で力強い造形美を紹介した。



●展示構成

- 第1章 柳宗悦—出会いと発見
- 第2章 再見—1941年の「アイヌ工芸文化展」
- 第3章 「それは啻に美しいのみならず」柳宗悦コレクション
- 第4章 「この迫力ある布の造形を見られたい」芹沢銈介コレクション
- 第5章 北海道と柳宗悦、一枚の写真から

●図録

縦296×横210mm/オールカラー280ページ/無線綴
編 集：北海道立近代美術館・宮城県美術館・公益財団法人アイヌ民族文化財団
編集協力：日本民藝館・静岡市立芹沢銈介美術館
写真撮影：村林千賀子
執 筆：五十嵐聡美(当館学芸統括官)、杉山享司氏(日本民藝館)、佐藤幸宏(当館学芸副館長)、池田忍氏(千葉大学)、白鳥誠一郎氏(静岡市立芹沢銈介美術館)、小林宏道氏(多摩美術大学)
デザイン：佐藤守功氏(株式会社佐藤守功デザイン事務所)
印 刷：美巧製版株式会社
発 行：公益財団法人アイヌ民族文化財団

●広報印刷物

ポスター/B2判
プレチラシ/A4判
チ ラ シ/A3二つ折り
観 覧 券/縦15.4×横7.0cm
デザイン：佐藤守功氏(株式会社佐藤守功デザイン事務所)
印 刷：美巧製版株式会社
出 品 目 録/A3二つ折り

●作品展示

日本通運札幌支店

●会場造作

株式会社六書堂

●関連事業

[オープニング・ギャラリートーク]

日 時：11月19日(火) 9時30分～(40分)
講 師：五十嵐聡美(当館学芸統括官)、杉山享司氏(日本民藝館)
会 場：本展会場内

[国立アイヌ民族博物館PR展示+体験イベント「ふれて楽しむ～アイヌ文化」]

内 容：ムックリ演奏体験(各日先着20名)や来春開館の国立アイヌ民族博物館のミニ展示
日 時：12月7日(土)、12月21日(土) 各10時～14時
会 場：1階ホール特設コーナー
共 催：国立アイヌ民族博物館設立準備室

[実演&トーク「貝澤徹氏に訊く、アイヌ木彫の技」]

日 時：1月11日(土) 13時30分～(80分)
講 師：貝澤徹氏(木彫家)
会 場：当館講堂
定 員：200名

[【連続セミナー「もっと知りたい!アイヌ文化」】]

日 時：1月12日(日)
①13時30分～ ②14時30分～(各60分)
テ ー マ：①「アイヌのことばと世界」
②「アイヌ工芸―鑑賞のポイント」
講 師：①北原モコットウナシ氏(北海道大学アイヌ・
先住民研究センター)
②山崎幸治氏(北海道大学アイヌ・先住民研究
センター)
会 場：当館講堂
定 員：200名

[トークセッション「柳宗悦と芹沢銈介が発見したもの」]

日 時：1月13日(月) 13時30分～16時
講 師：杉山享司氏(日本民藝館)、白鳥誠一郎氏(静
岡市立芹沢銈介美術館)
聞 き 手：五十嵐聡美(当館学芸統括官)
会 場：当館講堂
定 員：200名

[学芸員によるギャラリートーク]

日 時：11月30日(土)、12月7日(土)、12月14日
(土)、12月21日(土) 各13時30分～(約30
分)
会 場：本展会場内

[札幌国際芸術祭2020 プレイベント スペシャルギャラリ
ーツアー]

開催日：12月15日(日)

・ ツアー

時 刻：15時～15時30分
ナビゲーター：マユンキキ氏(SIAF2020 アイヌ文化コー
ディネーター)

聴講者数：20名

・ トーク

時 刻：15時40分～16時30分
スピーカー：マユンキキ氏、五十嵐聡美(当館学芸統括
官)

聴講者数：38名

[ミニアトリエ「ぬり絵と切り絵であそぼう!」]

日 時：会期中毎日
※1月8日(水)、9日(木)は「お楽しみ」付き
会 場：1階ホール特設コーナー

[特設ライブラリー]

「深める・親しむ～アイヌの美しき手仕事」

日 時：会期中毎日
会 場：本展出口特設コーナー
共 催：北海道立図書館

● 主な新聞・雑誌記事等

- ・ 朝日新聞「アンカンルピリカ アイヌの美」(連載)
※執筆者はいずれも五十嵐聡美(当館学芸統括官)

「切伏刺繍衣装」8月7日(水)
「煙草入れ」8月21日(水)
「剝り鉢」8月28日(水)
「刀掛け帯」11月6日(水)
「イクパスイ」11月13日(水)
「赤モスリン地衣装」11月20日(水)
「へら」11月27日(水)
「切伏木綿衣」1月8日(水)
「切伏刺繍衣装」1月15日(水)
「切伏刺繍衣装」1月22日(水)
「切伏刺繍衣装」1月29日(水)
「イタ」3月4日(水)
「ピリケへ」3月11日(水)
「タサイ」3月18日(水)
「切伏刺繍衣装」3月25日(水)

・ 北海道新聞

「アイヌの美しき手仕事 豊かな文様表現 物語感じる
品々」土屋孝浩 12月20日(金)夕刊

・ 毎日新聞

「アイヌの美しき手仕事 衣装、木彫品、装身具など多
彩」三木本香 12月27日(金)

・ 新美術新聞

「アイヌの美しき手仕事 ふたりを魅了したアイヌの造形
美」12月1・11日合併号

・ NHK Eテレ 12月8日(日)

「日曜美術館アートシーン」

アイヌの美しき手仕事 出品目録

I 柳宗悦—出会いと発見

No.	資料名	制作地	年代	所蔵	
I-1	『白樺』（第4巻10号／白樺社）		1913(大正2)	北海道立文学館	
I-2	絵絣屏風	山陰地方	19世紀(明治時代)	日本民藝館	
I-3	黒釉貼付牡丹唐草文甕	鹿児島・苗代川	19世紀(江戸時代)	日本民藝館	
I-4	呉須鉄絵鶴文石皿	愛知・瀬戸	19世紀(江戸時代後期)	日本民藝館	
I-5	刷毛目緑飴流雲助徳利	大分・小鹿田	20世紀(大正時代)	日本民藝館	
I-6	瓶掛	富山・高岡	1930代(昭和時代)	日本民藝館	
I-7	ひあげ	岩手・荒屋新町	1930代(昭和時代)	日本民藝館	
I-8	紺地経縞絣衣裳	沖縄・首里	19世紀(琉球王朝時代後期)	日本民藝館	
I-9	白地牡丹桐鳳凰文様紅型衣裳	沖縄・首里	19世紀(琉球王朝時代)	日本民藝館	
I-10	朱漆高坏	沖縄・首里	19世紀	日本民藝館	
I-11	白掛二彩打文厨子甕	沖縄・壺屋(金城次郎作)	1940頃(昭和時代)	日本民藝館	
I-12	祝上着	台湾(パイワン族)	19世紀	日本民藝館	
I-13	首飾り	台湾(パイワン族)	19世紀	日本民藝館	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
I-14~17	ウィリアム・ブレイク	『ヨブ記』挿絵	1823-26	エンブレイヴィング、紙	北海道立近代美術館

II 再見—1941年の「アイヌ工芸文化展」

No.	資料名	発行年	発行者	所蔵	
II-1	『工藝』（創刊号）	1931(昭和6)年1月	日本民藝協会	日本民藝館	
	『工藝』（2号）	1931(昭和6)年2月	日本民藝協会	日本民藝館	
	『工藝』（3号）	1931(昭和6)年3月	日本民藝協会	日本民藝館	
II-2	『工藝』（106号）	1941(昭和16)年12月	日本民藝協会	北海道立文学館	
	『工藝』（107号）	1942(昭和17)年3月	日本民藝協会	北海道立文学館	
No.	著編者ほか	資料名	発行年	発行者	所蔵
II-3	柳宗悦 著	『工藝の道』	1928(昭和3)	ぐろりあそさえて	北海道立文学館
II-4	杉山 寿栄男 著	『北の工藝』	1934(昭和9)	河出書房	北海道立文学館
II-5	柳宗悦 著	『美の法門』	1949(昭和24)	日本民藝協会	北海道立文学館
II-6~17	柳宗悦の式場隆三郎宛書簡ほか、写真、文献資料一式				式場隆史氏
II-18	「アイヌ書誌」掲載のアイヌ関連文献一式				北海道立図書館

III 「それは畜に美しいのみならず」柳宗悦コレクション

No.	日本語名称	アイヌ語名称	所蔵
III-1	オヒョウ縞地切伏刺繍衣裳	アットウシ	日本民藝館
III-2	オヒョウウ縞地切伏刺繍衣裳	アットウシ/アハルシ	日本民藝館
III-3	オヒョウウ地切伏刺繍衣裳	アットウシ/アハルシ	日本民藝館
III-4	オヒョウウ地切伏刺繍衣裳	アハルシ	日本民藝館
III-5	オヒョウウ地切伏刺繍衣裳	アットウシ	日本民藝館
III-6	オヒョウウ地切伏刺繍衣裳	アットウシ	日本民藝館
III-7	オヒョウウ地切伏刺繍衣裳	アットウシ	日本民藝館
III-8	オヒョウウ地縞衣裳	アットウシ	日本民藝館

III-9	オヒョウ地切伏刺繍衣裳	アットウシ	日本民藝館
III-10	イラクサ地切伏刺繍衣裳	テタラベ	日本民藝館
III-11	イラクサ地切伏刺繍衣裳	テタラベ	日本民藝館
III-12	木綿地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-13	木綿地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-14	赤モスリン地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-15	木綿縞地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-16	木綿地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-17	木綿紺地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-18	木綿紺地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-19	木綿地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-20	藍木綿地切伏刺繍衣裳	—	日本民藝館
III-21, 23, 24	首飾り	タマサイ・イムフサイ	日本民藝館
III-22	首飾り	タマサイ	日本民藝館
III-25, 26, 28	首飾り	タマサイ・イムフサイ	日本民藝館
III-27	首飾り	タマサイ	日本民藝館
III-29	切伏刺繍紐付き袋	カロブ・カハコモ	日本民藝館
III-30	紺ビロード地刺繍財布	—	日本民藝館
III-31	紺ビロード地刺繍装飾付き枕	—	日本民藝館
III-32～ 34	太刀	エムシ・エムシ	日本民藝館
III-35～ 55	刀掛け帯	エムシアツ・エムシタ ラ	日本民藝館
III-56～ 109	イクパスイ・イクニシ		日本民藝館
III-110 ～114	煙草入れ	タンパクオブ・オトホ コホペ	日本民藝館
III-115 ～117	小刀	マキリ・マキリ	日本民藝館
III-118	小刀鞘	エピリケハ	日本民藝館
III- 119, 120	盆	イタ・ニマ	日本民藝館
III-121	耳付き盆	イタ・ニマ	日本民藝館
III-122	盆	イタ・ニマ	日本民藝館
III-123 ～126	椀	チェペニパボ	日本民藝館
III-127	椀	シカリンパハ	日本民藝館
III- 128, 129	茶托	—	日本民藝館
III- 130, 131	杓子	カスプ・カスフ	日本民藝館
III- 132, 133	団子へら	シトペラ	日本民藝館
III-134	へら（織り機・部品）	ペラ・ペラ	日本民藝館
III-135	おさ（織り機・部品）	ウオサ・ウオサ	日本民藝館

IV 「この迫力ある布の造形を見られたい」芹沢銈介コレクション

No.	日本語名称	アイヌ語名称	所蔵
IV- 1～16	厚司	アットウシ	静岡市立芹沢銈介美術館

IV-17~19	切伏苧麻衣	テタラペ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-20, 22~38	切伏木綿衣	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-21	木綿縞地切伏刺繍衣裳	—			東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
IV-22~38	切伏木綿衣	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-39	○ 鳥龍文切伏魚皮衣	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-40	● 鳥獸文刺繍皮絹切継衣	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-41~44	首飾り	タマサイ・イムフサイ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-45, 47	前掛け	マエタレ・マンタリ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-48	脚絆	ホシ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-49~51	刀掛け帯	エムシアツ・エムシタラ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-52~57	イクパスイ				静岡市立芹沢銈介美術館
IV-58	煙草入れ	オトホコホベ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-59	矢筒	イカヨブ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-60~62	盆	イタ・ニマ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-63	耳付き盆	イタ・ニマ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-64	盆	イタ・ニマ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-65	椀	チェペニパボ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-66, 67	さじ	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-68	へら (織り機・部品)	ペラ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-69, 70	花ござ	イナウソ・チタラペ・オキタルンペ			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-71	巴文漆絵酒樽	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-72	巴文漆絵桶	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-73	巴文漆絵行器	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-74	沢瀉紋入蓋付き鉢	—			静岡市立芹沢銈介美術館
IV-75	巴文漆絵桶	—			静岡市立芹沢銈介美術館
No.	作家名	作品名	制作年	材質	所蔵
IV-S-1	芹沢 銈介	笹文のれん	1972(昭和47)	まだ布	静岡市立芹沢銈介美術館
IV-S-2	芹沢 銈介	貝文着尺	1963(昭和38)	木綿	静岡市立芹沢銈介美術館
IV-S-3	芹沢 銈介	竹に小梅文帯地	1955(昭和30)	絹	静岡市立芹沢銈介美術館
IV-S-4	芹沢 銈介	小川紙漉村文着物	1943(昭和18)	絹 (縮緬)	静岡市立芹沢銈介美術館

IV-S-5	芹沢 銑介	『民藝と生活』挿絵より「まきりとひげべら」	1943(昭和18)	和紙	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-6	芹沢 銑介	沖縄笠団扇文部屋着	1960(昭和35)	麻	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-7	芹沢 銑介	縄のれん文のれん	1955(昭和30)頃	木綿	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-8	芹沢 銑介	ばんどり図四曲屏風	1957(昭和32)	麻	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-9	芹沢 銑介	小染絵	1943(昭和18)頃	和紙	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-13	芹沢 銑介	札幌・青盤舎マッチボックス、マッチラベル			東北福祉大学芹沢銑介美術工芸館
IV-S-14	芹沢 銑介	ふきん・ランチョンマット用デザイン		染紙	東北福祉大学芹沢銑介美術工芸館
No.	著編者ほか	資料名	発行年	発行者	所蔵
IV-S-10	芹沢 銑介 著	『装幀図案集』 三	1973(昭和48)	吾八	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-11	式場 隆三郎 著 芹沢 銑介 装幀	『民藝と生活』（普及版）	1943(昭和18)	北光書房	静岡市立芹沢銑介美術館
IV-S-12	式場 隆三郎 著 芹沢 銑介 装幀	『民藝と生活』（私家版、限定100部のうち第41番）	1944(昭和19)		静岡市立芹沢銑介美術館
V					
No.	著編者ほか	資料名	発行、制作年	発行者	所蔵
V-1	柳 宗悦 著	河井寛次郎のひとと仕事（私家版）	1947(昭和22)	鶴文庫	北海道立文学館
V-2	更科 源蔵 著 川上 澄生 画刻	北海道絵本	1949(昭和24)	日本交通公社札幌支社	北海道立文学館
V-3	川上 澄生	偽版古地図（木版墨摺り手彩色）	1953(昭和28)頃		北海道立文学館
V-4	川上 澄生	あいのもしり（限定30部のうち第21番、アットゥシ織装）	1955(昭和30)		北海道立文学館
V-5	川上 澄生	あいのもしり（限定30部のうち第6番）	1955(昭和30)		北海道立文学館
V-6	川上 澄生	えぞがしま	1958(昭和33)		北海道立文学館
V-7	岡村 吉右衛門	アイヌ神謡	1958(昭和33)		北海道立文学館
V-8	岡村 吉右衛門	熊祭り 日高平取	1958(昭和33)		北海道立文学館
V-9	岡村 吉右衛門	あいぬ諸道具	1959(昭和34)		北海道立文学館
V-10	岡村 吉右衛門 著 萱野 茂 述	まきりしのっちゃん	1962(昭和37)		北海道立文学館
V-11	岡村 吉右衛門	デザインの歴史	1974(昭和49)	講談社	北海道立文学館
V-12	岡村 吉右衛門	象徴の美—装飾美論	1977(昭和52)	玉川大学出版部	北海道立文学館
V-13	岡村 吉右衛門	工芸 機能と美を求めて	1978(昭和53)	東海大学出版会	北海道立文学館
V-14	岡村 吉右衛門	狼神（型染・紙）	1956(昭和31)		公益財団法人アイヌ民族文化財団
V-15	岡村 吉右衛門	鮭祭り（型染・紙）	1959(昭和34)		公益財団法人アイヌ民族文化財団
V-16	香川 軍男	いも版 AINU帖（限定800部のうち第484番、第548番）	1972(昭和47)		北海道立文学館
V-17	香川 軍男	馬鈴薯 絵葉書 AINU 諸道具			北海道立文学館
V-18		ゑぞ・まめほん	1953-62(昭和28-37)	北海道豆本の会	北海道立文学館

※Ⅲ章とⅣ章のうち、アイヌコレクションの「名称」には、日本語、アイヌ語を記した

※日本語名称は、所蔵館の作品名を原則として表記したが、一部は、本展のために名称を付けた

※アイヌ語名称は、方言による違いや同じ地域であっても複数の名称で呼ぶことを考慮し、各地域の代表的な名称を記載、あるいは併記した。樺太方言による名称には、下線を付した。アイヌ語名称が不明なものは—(棒線)で示した

※○は前期 [令和元年11月19日(火)～12月15日(日)]、●は後期 [令和元年12月17日(火)～令和2年1月13日(月)] 展示

4 北海道 151 年のヴンダーカンマー

— 《歴史》と《アート》を集めた《驚異の部屋》へようこそ—

Cabinet of Curiosities: 151 Years of Hokkaido History

会 期：令和 2 年 1 月 25 日（土）～ 3 月 15 日（日）

（※新型コロナウイルス感染拡大により、2 月 29 日[土]から会期終了まで臨時休館）

会 場：北海道立近代美術館 展示室 B

主 催：北海道立近代美術館、北海道新聞社

後 援：札幌市、札幌市教育委員会

2018 年、「北海道」と命名されて 150 年が過ぎた。その歴史のなかで、北海道に住む人々はどのような活動をして、何を創りだしてきたのだろうか。明治維新か開拓使時代にかけての激動の時代、そして新たな街も増え、文化の発展・興隆を見た明治後期から現代にかけて、この地の営みのなかで、さまざまなかたちとしてあらわれている。

本展は、北海道における 150+1 年に渡る歴史を通覧するため、これまでの 150 年を「開拓」、「学術」、「炭鉱」、「鉄道」、「行事」という 5 つにジャンルに分け、美術館、博物館、図書館といった道内諸機関などの所蔵品によって、さらには+1 年に現在から未来への視線を込めて、テーマごとに 5 人のアーティストの新作によって検証。15 世紀から 18 世紀にかけてヨーロッパで流行した、蒐集品を飾る部屋「ヴンダーカンマー」さながらに、ビジュアルな形で紹介した。

多様な施設などから、数多くの資料を借用することによって、モノ自体の持つ魅力によって、ビジュアルに北海道の歴史を振り返る展覧会となり、幅の広い観覧者から支持を得ることができた。さらに、5 名の現代作家による新作を展示することによって、現代性、批評性を得ることができた。

コロナウイルス感染防止のため、2 月 29 日から 14 日間の会期を残しての休館となったのは残念だったが、3,105 人のお客様にご覧いただくことができた。



● 展示構成

「北海道」／「学問」／「炭鉱」／「鉄道」／「祝祭」

● パンフレット

196×220 mm／22 ページ

ディレクション：	岸上祐史（中西印刷株式会社）
執筆：	大下智一（当館学芸企画課長）
表紙デザイン：	クスマエリカ
表紙AR動画：	門間友佑
印刷・製本：	中西印刷株式会社
発行：	北海道立近代美術館

● 広報印刷物

ポスター／B2 判

チラシ／A4 判

観覧券／縦 19.0×横 7.0cm(共通券) 縦 16.5×横 7.0cm(共通券以外)

印刷：中西印刷株式会社

デザイン：クスマエリカ

● 作品展示

日本通運株式会社

● 会場造作

株式会社六書堂

● 関連事業

[アーティストトーク]

日 時：1 月 25 日(土) 2 月 1 日(土)、2 月 22 日(土)
各日 14 時～

講 師：1/25＝小宮伸二氏、row&row (各 30 分)

2/1＝大友真志氏 (30 分)

2/22＝大島慶太郎氏、ウリュウユウキ氏 (各 30 分)

会 場：展示室 B (要観覧券)

[ギャラリートーク]

日 時：2 月 8 日(土)、15 日(土) 各日 15 時～ (約 60 分)

会 場：展示室 B (要観覧券)

講 師：当館学芸員

[特設ライブラリー]

「深める・親しむ～北海道 151 年のヴンダーカンマー」

日 時：会期中毎日

会 場：本展出口特設コーナー

共 催：北海道立図書館

● 主な新聞・雑誌記事等

・北海道新聞

「北海道 151 年 珍品で振り返る」鹿内朗代 1 月 26 日(月)

「知的で映える 「驚異の部屋」」土屋孝浩 2 月 3 日(土)

「「驚異の部屋」に学ぶ」古家昌伸 3 月 3 日(火)

「「驚異の部屋」漫談」池澤夏樹 3 月 10 日(火)

北海道151年のウンダーカンマー 出品目録

No.	作者名	作品名・資料名	制作年	所蔵先
北海道/Hokkaido				
1	田本 研造	札幌旧仮役所門前の図	1871(明治4)	北海道立図書館
2	田本 研造	札幌仮役所ヨリ西ヲ見ル図	1871(明治4)	北海道立文書館
3	田本 研造 またはシュティルフリード	札幌神社華表之図	1871(明治4)	北海道立図書館
4	田本 研造 またはシュティルフリード	札幌神社正面之図	1871(明治4)	北海道立図書館
5	田本研造カ	小樽湾ノ景	1872(明治5)	北海道立文書館
6	田本 研造	馬立場建築人夫屯天幕の図	1872(明治5)	北海道立文書館
7	田本 研造	無沢山中ヨリ大沼駒ヶ岳ヲ望ム	1872(明治5)	函館市中央図書館
8	田本 研造	蕁菜沼より駒ヶ岳を望む	1872(明治5)	函館市中央図書館
9	田本 研造	五稜郭伐氷図	1877(明治10)	函館市中央図書館
10	歌川 広重 (三代)	大日本物産図絵 北海道函館氷輸出之図	1877(明治10)	北海道博物館
11	武林 盛一	札幌麦酒醸造所開業式	1876(明治9)	北海道立文書館
12	武林 盛一	札幌葡萄酒製造所開業式	1876(明治9)	北海道立文書館
13	武林 盛一	開拓使札幌本庁舎	1873(明治6)	北海道立文書館
14	武林 盛一	開拓使札幌本庁舎上棟式	1873(明治6)	北海道立文書館
15	井田 倅吉	花ゴザを編むアイヌ (女性)	1877(明治10)頃	函館市中央図書館
16	井田 倅吉	明治11年千島アイヌ	1878(明治11)	市立函館博物館
17	武林 盛一	屯田兵觀兵式		北海道立図書館
18	田本 研造	創成通	1871(明治4)	北海道立図書館
19	田本 研造/不詳	札幌風景	1871(明治4)/1911(明治44)	北海道立図書館
20	伝・船越 長善 筆	明治6年札幌市街の真景	1882(明治15)以前	北海道大学 植物園・博物館
21	疋田 敬蔵	開拓使紡織場	1879(明治12)	北海道博物館
22	歌川 広重 (三代)	『現如上人北海道開拓錦絵』北海道新道切開	1871(明治4)	北海道立近代美術館
23	歌川 豊国 (四代)	『現如上人北海道開拓錦絵』訓縫	1871(明治4)	北海道立近代美術館
24	歌川 広重 (三代)、小林 永濯	『現如上人北海道開拓錦絵』雷電越の危難	1871(明治4)	北海道立近代美術館
25	歌川 国輝 (二代)	『現如上人北海道開拓錦絵』小樽ゼニバコ 魴魚の奇異	1871(明治4)	北海道立近代美術館
26	疋田 敬蔵	写生画帳	1879-1881(明治12-14)	北海道立近代美術館
27	沢田 雪溪	北海道渡島国鶴山道開鑿真景	1885(明治18)	北海道博物館
28	小林 秋濤	北海道漁業図絵 上・下	1879(明治12)	函館市中央図書館
29	船越 長善筆	札幌近郊の墨絵 上	1873-1874(明治6-7)	北海道大学 植物園・博物館
30	船越 長善筆	札幌近郊の墨絵 下	1873-1875(明治6-8)	北海道大学 植物園・博物館
31	小宮山 信良	豊平橋之図 (旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
32	三島 常磐	野幌煉瓦工場 (旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
33	室蘭・小林	日本製鉄所B工場コンプレッサー基礎之図 (旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
34	田本 研造	函館セメント工場 (旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
35	玄々堂印刷	北海道開拓雑誌	1880(明治13)	北海道博物館
36	北海道殖産部編	北海道移住案内 第5	1897(明治30)	北海道立図書館
37	北海道庁第五部殖産課編	北海道殖産図解 第3回	1906(明治39)	北海道立図書館
38		北海道港湾都市写真アルバム	1895(明治28)頃	函館市中央図書館
39	遠藤 陸郎	千島探検諸島実景	1892(明治25)	北海道立文書館
40	石川 直治	十勝国オトブケ川第三紀凝灰岩崖之図	1894(明治27)	北海道立文書館
41	石川 直治	占守島片岡湾郡司大尉棲住小屋	1894(明治27)	北海道立文書館
42	石川 直治	占守島ベツトブ穴居 四	1894(明治27)	北海道立文書館

43	田本 研造	第二水道工事写真帖	1896(明治29)	函館市中央図書館
44	田本 研造	水道布設工事写真帖	1888-90(明治21-23)	函館市中央図書館
45		対雁製網所		北海道立図書館
46	室蘭・小林	白老駅でのアイヌ(旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
47	信伊奈 亮正	熊送り(旧北炭所蔵写真)		北海道博物館
48		小樽高嶋鯨漁の図		北海道大学 植物園・博物館
49		石狩川河口の鮭漁の図		北海道大学 植物園・博物館
50	伝・高橋 由一	鮭		北海道大学 植物園・博物館
51		樹皮舟の製作(雨竜)写真	1939(昭和14)以前	北海道大学 植物園・博物館
52		丸木舟の製作(雨竜)写真	1937(昭和12)	北海道大学 植物園・博物館
53		アイヌ住宅(エカシケンルカ)	1933(昭和8)	北海道大学 植物園・博物館
54		塘路アイヌの熊送り(植物園にて)		北海道大学 植物園・博物館
55	蝦夷試製	アイヌ熊祭煎茶器セット		北海道立近代美術館
56	吉田 初三郎	北海道鳥瞰図	1936(昭和11)	北海道博物館
57	掛川 源一郎	冬の開拓地	1964(昭和39)	北海道立文学館
58	掛川 源一郎	家族全員で記念写真を撮った。飼い馬もいっしょ。	1978(昭和53)	北海道立文学館
59	掛川 源一郎	消石灰を撒く	1960(昭和35)	北海道立文学館
60	掛川 源一郎	開拓農家に夕陽が差す	1963(昭和38)	北海道立文学館
61	掛川 源一郎	「ボク、とっても眠いんだ。そっとしといて!」	1966(昭和41)	北海道立文学館
62	掛川 源一郎	馬耕する仲宗根氏	1959(昭和34)	北海道立文学館
63	掛川 源一郎	姉と弟	1968(昭和43)	北海道立文学館
64	掛川 源一郎	「ボクも手伝っているんだ」	1964(昭和39)	北海道立文学館
65	長万部写真道場	司馬力彌と妻のハル(旭浜、長万部町)	1953(昭和28)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
66	長万部写真道場	本町～旭浜を結ぶ渡し舟(長万部川、長万部町)	1955-65(昭和30-40)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
67	長万部写真道場	ロクロ/マキドウ(旭浜、長万部町)	1955(昭和30)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
68	長万部写真道場	巨大な根株(平里、長万部町)	1955(昭和30)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
69	長万部写真道場	沖縄出身の吉良一家(平里、長万部町)	1956(昭和31)	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
70	長万部写真道場	雪の路上で遊ぶ子どもたち(旭浜、長万部町)	1955(昭和30)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
71	長万部写真道場	市街地、長万部町	1955(昭和30)頃	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
72	長万部写真道場	空になったブリキの牛乳缶を持ち帰る女性(静狩、長万部町)	1959(昭和34)	長万部写真道場研究所受託(澤薫氏蔵)
73	山形 トム	馬耕		作家蔵
74	山形 トム	入植記念日10周年		作家蔵
75	松島 正幸	小樽港の築港		北海道立近代美術館受託
76	大友 真志	Mouraiーユウフツ、イシカリ(24点)	2020(令和2)	作家蔵
学問/Science				
76	小宮 伸二	ロシア構成主義風STOVE	2019(令和元)	作家蔵
77		マイクロマニピュレーター付き顕微鏡		北海道大学総合博物館
78	玉屋 商会	航海用六分儀		北海道大学総合博物館
79	大和光機工業株式会社	マイクロトーム(大)		北海道大学総合博物館
80	ドイツ・ライツ社	マイクロトーム(小)	大正時代	北海道大学総合博物館
81		ゴニオメーター		北海道大学総合博物館
82	東芝	和文タイプライター		北海道大学総合博物館

83	小宮 伸二	入射角ト屈折角オヨビ回転速度ニヨル衝撃波ノ閃光関係式ト破裂係数測定装置	2020(令和2)	作家蔵
84	神戸工業製/ドイツ製/マツダ製	X線管		北海道大学総合博物館
85		実験器具		北海道大学総合博物館
86	小宮 伸二	chain チェーン	2020(令和2)	作家蔵
87		実験器具		北海道大学総合博物館
88	ドイツ・ツァイス社	AEROTOPOGRAPH		北海道大学総合博物館
89	小宮 伸二	酸化鉄(Ⅲ) / Iron(III) oxide / Fe2O3 A	2014(平成26)	作家蔵
90	小宮 伸二	酸化鉄(Ⅲ) / Iron(III) oxide / Fe2O3 B	2014(平成26)	作家蔵
91	小宮 伸二	音波発生器/信号・周波数変換器/増幅器/他	2006(平成18)	作家蔵
92	ドイツ・ライツ社	医学部開学当初の高級実体顕微鏡	大正時代	北海道大学総合博物館
93	小宮 伸二	通信傍受機器	2020(令和2)	作家蔵
94	横河電機製作所	DECADE RESISTANCE BOX (ダイヤル可変抵抗器)		北海道大学総合博物館
95	小宮 伸二	バロ目ター	2020(令和2)	作家蔵
96	横河電機製作所	直流電流計		北海道大学総合博物館
97	ドイツ・ツァイス社	医学部開学当初の高級顕微鏡	大正時代	北海道大学総合博物館
98	ドイツ・ツァイス社	医学部開学当初の高級顕微鏡	大正時代	北海道大学総合博物館
99	ドイツ・ライツ社	医学部昭和初期の実体顕微鏡	昭和初期	北海道大学総合博物館
100	日本・日真光学社	医学部昭和30年ごろの顕微鏡	1955(昭和30)頃	北海道大学総合博物館
101	ドイツ・ライツ社	医学部開学当初の学生実習用顕微鏡	大正時代	北海道大学総合博物館
102		岡田ブーリエがフランスから持ち込んだサファイア、ルビー標本		市立函館博物館
103		岡田ブーリエがフランスから持ち込んだ岩石鉱石標本		市立函館博物館
104	小宮 伸二	採取場所: K邸(鉱物)	2020(令和2)	作家蔵
105	小宮 伸二	歯と爪/K家の動物より	2020(令和2)	作家蔵
106		ラッコ剥製		北海道大学総合博物館水産科学館
107		ヒグマ剥製		北海道大学 植物園・博物館
108		ヒグマ頭骨標本		北海道大学 植物園・博物館
109	小宮 伸二	標本用動物狩猟道具類 (perhaps)	2020(令和2)	作家蔵
110	小宮 伸二	フィルムケース内のバンプル・ビー	2001(平成13)	作家蔵
111	森武 寅雄 採集	ダルス科ダルス (函館山寒川)	1938(昭和13)	市立函館博物館
112	森武 寅雄 採集	コンブ科マコンブ (根崎)	1935(昭和10)	市立函館博物館
113	森武 寅雄 採集	アオサ科ウスバアオノリ (志海苔)		市立函館博物館
114	森武 寅雄 採集	イトフノリ科イトフノリ (志海苔)	1943(昭和18)	市立函館博物館
115	森武 寅雄 採集	ウシケノリ科ウップルイノリ (函館山立待岬)	1941(昭和16)	市立函館博物館
116	森武 寅雄 採集	コンブ科ガゴメコンブ (志海苔)	1940(昭和15)	市立函館博物館
117	森武 寅雄 採集	ホンダワラ科アカモク		市立函館博物館
118	森武 寅雄 採集	ウシケノリ科スサビノリ (函館山弁天崎)	1941(昭和16)	市立函館博物館
119	小宮 伸二	採取場所: K邸(珊瑚とアンモナイト)	2020(令和2)	作家蔵
120		内村鑑三のアワビ標本		北海道大学 植物園・博物館
121	小宮 伸二	貝類標本/ツブ	2020(令和2)	作家蔵
122	小宮 伸二	貝類標本/帆立貝	2020(令和2)	作家蔵
123		昆虫標本箱H-125 (N210-059キャビネットより)		北海道大学総合博物館
124		昆虫標本箱H-136 (N210-059キャビネットより)		北海道大学総合博物館

125		昆虫標本箱H-192 (N210-052黒キャビネットより)		北海道大学総合博物館
126		昆虫標本箱H-206 (N210-052黒キャビネットより)		北海道大学総合博物館
127	菅原 繁蔵 採集	ゴマノハグサ科オクエゾガラガラ (樺太豊原)	1939(昭和14)	市立函館博物館
128	菅原 繁蔵 採集	キク科オオノブキ (根室市)	1956(昭和31)	市立函館博物館
129	菅原 繁蔵 採集	キンボウゲ科シロバナキクザキイチゲ (函館市函館山)	1954(昭和29)	市立函館博物館
130	菅原 繁蔵 採集	バラ科コジマキンバイ (松前町小島)	1952(昭和27)	市立函館博物館
131	菅原 繁蔵 採集	オトギリゾウ科アゼオトギリ (樺太大泊町)	1938(昭和13)	市立函館博物館
132	菅原 繁蔵 採集	ユキノシタ科エゾネコノメソウ (函館市函館山)	1954(昭和29)	市立函館博物館
133	菅原 繁蔵 採集	ユリ科マイヅルソウ (樺太清水谷)	1938(昭和13)	市立函館博物館
134	菅原 繁蔵 採集	樺太植物図鑑原図 (1巻)		函館市中央図書館
135	菅原 繁蔵 採集	『樺太植物図誌』 (1巻)	1937(昭和12)	函館市中央図書館
136		イソバテング (茅部郡臼尻村)	1879(明治12)	市立函館博物館
137		ヨウジウオ (山越郡長万部村)	1879(明治12)	市立函館博物館
138		イソギンチャクの一つ	1879(明治12)	市立函館博物館
139		クロコバンザメ (斜里郡斜里)	1894(明治27)	市立函館博物館
140		シチロウウオ (山越郡)	1878(明治11)	市立函館博物館
141		ドジョウ (亀田郡大野村)	1879(明治12)	市立函館博物館
142		アオミシマ (胆振国樽前)	1890(明治23)	市立函館博物館
143	小宮 伸二	液浸標本/K家の食卓より	2020(令和2)	作家蔵
144	犬飼 哲夫、武笠 耕三 撮影	ヒグマ頭骨写真	1934(昭和9)	北海道大学 植物園・博物館
145		ヒグマ剥製写真		北海道大学 植物園・博物館
146		ノコギリクワガタ (雄) 写真	1924(大正13)以前	北海道大学 植物園・博物館
147		ノコギリクワガタ (雌) 写真	1924(大正13)以前	北海道大学 植物園・博物館
148		タコブネ写真	1924(大正13)以前	北海道大学 植物園・博物館
149		カナヘビ写真	1930(昭和5)以前	北海道大学 植物園・博物館
150	小宮 伸二	金蛇界の救世主は何処へ	2020(令和2)	作家蔵
151		フクドジョウ (野幌生態調査) 写真	1934(昭和9)以前	北海道大学 植物園・博物館
152		内村鑑三のアワビ標本写真		北海道大学 植物園・博物館
153		顕微鏡 (発生) 写真	1927(昭和2)以前	北海道大学 植物園・博物館
154		ブラキストン標本 (クマゲラ) 写真	1932(昭和7)以前	北海道大学 植物園・博物館
155		ブラキストン標本 (エゾライチョウ) 写真	1932(昭和7)以前	北海道大学 植物園・博物館
156		人体模型		北海道大学総合博物館
157	小宮 伸二	人体標本 (生体)	2020(令和2)	作家蔵
158	小宮 伸二	電球人	2019(令和元)	作家蔵
159	小宮 伸二	植物標本写真/K家近隣より	2019(令和元)	作家蔵
160	小宮 伸二	10年の髭/whiskers of 4 cats for 10 years	2020(令和2)	作家蔵
161	小宮 伸二	林檎の本	2018(平成30)	作家蔵
162	小宮 伸二	青林檎の本	2018(平成30)	作家蔵
163	小宮 伸二	洋梨の本	2018(平成30)	作家蔵
164	小宮 伸二	K邸の壁材 (貝灰漆喰/石灰漆喰/黄土/ベンガラ)	2008(平成20)	作家蔵
165	小宮 伸二	魚類骨格標本/秋刀魚	2020(令和2)	作家蔵
166	小宮 伸二	魚類骨格標本/ハタハタ (子持ち)	2020(令和2)	作家蔵
167	小宮 伸二	槍烏賊骨格標本	2020(令和2)	作家蔵
168	小宮 伸二	燃やされた資料A	2014(平成26)	作家蔵
169	小宮 伸二	燃やされた資料B	2014(平成26)	作家蔵

170	小宮 伸二	動物体毛標本 Ovis aries／採取場所：K邸	2020(令和2)	作家蔵
171	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第一図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
172	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第二図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
173	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第三図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
174	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第四図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
175	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第五図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
176	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第六図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
177	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第七図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
178	亀井 鑑太郎 画	日本重要水産動物図 第八図	1897(明治30)	北海道大学総合博物館水産科学館
179		日本重要水産植物図	1910(明治43)	北海道大学総合博物館水産科学館
180	小宮 伸二	採取場所：K邸(豆)	2020(令和2)	作家蔵
181	小宮 伸二	動物体毛標本／K家の家禽より (poohcha/mogusa/pow/toro)	2020(令和2)	作家蔵
182	小宮 伸二	採取場所：K邸(蓮と蜂巢)	2020(令和2)	作家蔵
183	小宮 伸二	採取場所：K邸(植物)	2020(令和2)	作家蔵
184		顕微鏡 木製台座・ガラスケース入り		北海道大学総合博物館
185		展示ケース	明治後期	市立函館博物館
186		オオカミウオ(胆振国紋別村)	1882(明治15)	市立函館博物館
187		ピワガイ	明治後期	市立函館博物館
188		エゾキンチャクガイ	明治後期	市立函館博物館
189		エゾイシカゲガイ	明治後期	市立函館博物館
190		ヒレジャコガイ	明治後期	市立函館博物館
191		コトシヨクコウラ	明治後期	市立函館博物館
192		オナジマイマイ	明治後期	市立函館博物館
193		カサガイ	明治後期	市立函館博物館
194		クチムラサキダカラガイ	明治後期	市立函館博物館
195		イトウ(根室郡根室)	1879(明治12)	市立函館博物館
196		チョウザメ(函館市尻沢部(現住吉町))	1880(明治13)	市立函館博物館
197	疋田 豊治	ミズクラゲ		北海道大学総合博物館水産科学館
198	疋田 豊治	オショロガレイ	1914(大正3)	北海道大学総合博物館水産科学館
199	疋田 豊治	創立記念水産動物出品標本	1940(昭和15)	北海道大学総合博物館水産科学館
200	疋田 豊治	ヒトデ類①		北海道大学総合博物館水産科学館
201	疋田 豊治	オショロガレイ骨格		北海道大学総合博物館水産科学館
202	疋田 豊治	魚学実験室		北海道大学総合博物館水産科学館
203	疋田 豊治	日本魚類写真集		函館市中央図書館
204	疋田 豊治	日本魚類写真集		函館市中央図書館
205	小宮 伸二	カラシン	2020(令和2)	作家蔵
206	小宮 伸二	バトラコイデス	2020(令和2)	作家蔵

207		染色体写真（人類及び鼠類の染色体、カマキリ数種の染色体、爬虫類及び鳥類の染色体、鳥類の染色体）		北海道大学総合博物館
208		実験映像「培養下におけるヤモリ細胞の有糸分裂」		北海道大学総合博物館
209		ムラージュ（〈皮膚障害〉凍瘡）		北海道大学総合博物館
210		ムラージュ（〈感染症〉輪状丘疹性梅毒）		北海道大学総合博物館
211		ムラージュ（天然痘）		北海道大学総合博物館
212		博物画「ホヤ」	1890(明治23)	北海道大学 植物園・博物館
213		博物画「ヤマナシ」	1891(明治24)	北海道大学 植物園・博物館
214		博物画「タチツボ 1 スミレ 2 ツクシ 3 ナツナ」	1880-82(明治13-15)頃	北海道大学 植物園・博物館
215		博物画「福寿草」	1891(明治24)	北海道大学 植物園・博物館
216		博物画「ハナシノブ」	1891(明治24)	北海道大学 植物園・博物館
217		博物画「ハマナス」	1891(明治24)	北海道大学 植物園・博物館
218		博物画「ハイタカ」	1890(明治23)	北海道大学 植物園・博物館
219		博物画「ナンバン鳥」	1892(明治25)	北海道大学 植物園・博物館
220		博物画「シジウカラ・エナガ」	1891(明治24)	北海道大学 植物園・博物館
221		博物画「ヤマケラ」	1890(明治23)	北海道大学 植物園・博物館
222		博物画「アヲジ」	1892(明治25)	北海道大学 植物園・博物館
223		博物画「エトピリカ」	1892(明治25)	北海道大学 植物園・博物館
224		魚類画帖	1876(明治9)	北海道大学 植物園・博物館
225		博物画帖	1877(明治10)	北海道大学 植物園・博物館
226		鳥類画帖	1876(明治9)	北海道大学 植物園・博物館
227	小宮 伸二	石の花 (2点)	2019(令和元)	作家蔵
228		博物画 カモメ		北海道大学 植物園・博物館
229		博物画 マガモ?		北海道大学 植物園・博物館
230		博物画 カルガモ		北海道大学 植物園・博物館
231		博物画 マガモ		北海道大学 植物園・博物館
232		博物画 カモメ		北海道大学 植物園・博物館
233		博物画 カモ?		北海道大学 植物園・博物館
234		博物画 カモメ		北海道大学 植物園・博物館
235		博物画 オナガガモ		北海道大学 植物園・博物館
236		鳥類画帖 (大)		北海道大学 植物園・博物館
237	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 32図 ぶなのき	第2巻第11輯第 1925(大正14)	札幌市中央図書館
238	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 33図 くり	第2巻第11輯第 1925(大正14)	札幌市中央図書館
239	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 34図 かしは	第2巻第11輯第 1925(大正14)	札幌市中央図書館
240	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 あをとどまつ	第1輯第3図 1920(大正9)	札幌市中央図書館
241	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 あかとどまつ	第1輯第2図 1920(大正9)	札幌市中央図書館
242	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 いちみ	第1輯第1図 1920(大正9)	札幌市中央図書館
243	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 68図 めいげつかへで	第3巻第23輯第 1930(昭和5)	札幌市中央図書館
244	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 69図 やまもみぢ	第3巻第23輯第 1930(昭和5)	札幌市中央図書館
245	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 70図 みつでかへで	第3巻第23輯第 1930(昭和5)	札幌市中央図書館
246	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 44図 ほゝのき	第2巻第15輯第 1927(昭和2)	札幌市中央図書館

247	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 第2巻第15輯第45図 きたこぶし	1927(昭和2)	札幌市中央図書館
248	須崎 忠助 画	北海道主要樹木図譜 第2巻第15輯第46図 のりのき	1927(昭和2)	札幌市中央図書館
249		鳥類画帖 (小)		北海道大学 植物園・博物館
250	中谷 宇吉郎	雪の結晶形態図 (雪華図説) 複製	1961(昭和36)	北海道大学総合博物館
炭鉱/Coal mine				
251	小宮山 信良	幌内炭山之図		北海道博物館
252	三島 常磐	夕張第一礦眞谷地事業場		北海道博物館
253	信伊奈 亮正	幌内洗炭機		北海道博物館
254	三島 常磐	幌内礦發電所		北海道博物館
255	信伊奈 亮正	夕張第一礦中央發電所		北海道博物館
256	夕張・佐々木	夕張第二斜坑法要	1912(大正元)?	北海道博物館
257	安藤 文雄	新夕張ズリ山	1955(昭和30)	夕張市石炭博物館
258	安藤 文雄	石炭拾の老婆 (末広)	1957(昭和32)	夕張市石炭博物館
259	安藤 文雄	雪の末広炭住	1958(昭和33)	夕張市石炭博物館
260	安藤 文雄	末広炭住街の5月	1960(昭和35)	夕張市石炭博物館
261	安藤 文雄	メーデー (昭和26、昭和グラント)	1961(昭和36)	夕張市石炭博物館
262	安藤 文雄	平和鉱入坑番割	1966(昭和41)	夕張市石炭博物館
263	安藤 文雄	平和3区のアパートも水に浸かる	1966(昭和41)	夕張市石炭博物館
264	安藤 文雄	新夕張閉山松島坑	1972(昭和47)	夕張市石炭博物館
265		夕張礦平面図		夕張市石炭博物館
266		夕張新第二炭鉱第二坑 坑内実測図		夕張市石炭博物館
267	倉持 桃林子	二番方入坑時繰込	1950代(昭和25-35)	夕張市教育委員会 (旧夕張市美術館)
268	倉持 桃林子	千屯ピン	1950代(昭和25-36)	夕張市教育委員会 (旧夕張市美術館)
269		組合関連 (ゼッケン、旗、腕章)		夕張市石炭博物館
270	畠山 哲雄	春先のやま	1961(昭和36)	夕張市教育委員会 (旧夕張市美術館)
271	加賀谷 松雄	炭鉱のモニュメント	1957(昭和32)	夕張市教育委員会 (旧夕張市美術館)
272	小林 政雄	捨て石のヤマ	1955(昭和30)	夕張市教育委員会 (旧夕張市美術館)
273		安全灯各種		夕張市石炭博物館
274		ガス検出器		夕張市石炭博物館
275		酸素呼吸器		夕張市石炭博物館
276		キャップランプ		夕張市石炭博物館
277		ヘルメット		夕張市石炭博物館
278		バッテリー		夕張市石炭博物館
279		自己救命機		夕張市石炭博物館
280		水銀整流器 (タコ頭)		夕張市石炭博物館
281		ジャックハンマー (削岩機)		夕張市石炭博物館
282		エア・オーガー (削岩機)		夕張市石炭博物館
283		コールピック (採炭機)		夕張市石炭博物館
284		石炭細工 (6点)		夕張市石炭博物館
289	大島 慶太郎	再生している、或いは・・・	2020(令和2)	作家蔵
鉄道/Railways				
290		D51系蒸気機関車ボイラー組立図 ①		
291		D51系蒸気機関車ボイラー組立図 ②		
292		D51系蒸気機関車ボイラー組立図 ③		
293		D51系蒸気機関車銘板		

294		S L全国工場最終出場記念		
295		ヘッドマーク（海峡、はまなす、北斗星）		
296		レール		三笠鉄道記念館
297		駅名板（幌内駅、三笠駅、幾春別駅）		三笠鉄道記念館
298		行先表示板（三笠一幌内、札幌行）		三笠鉄道記念館
299		圧力計		三笠鉄道記念館
300		速度計		三笠鉄道記念館
301		蒸気機関車の部品類		三笠鉄道記念館
302		ポイント灯		三笠鉄道記念館
303		合図灯		三笠鉄道記念館
304		配車灯		三笠鉄道記念館
305		合図灯		三笠鉄道記念館
306		集合写真（大正期）		
307		写真帖（大正期）		
308		ダッチングマシン		三笠鉄道記念館
309	弘済出版社	道内時刻表	1968(昭和43)年1月	北海道立図書館
310	札幌構内立売営業連合会	北海道列車時刻表	1943(昭和18)年11月	北海道立図書館
311	日本交通公社	交通公社の時刻表／日本交通公社；国鉄監修 63巻4号	1987(昭和62)年4月	北海道立図書館
312		定山溪鉄道きっぷ類（硬券）		北海道博物館
313		改札用鉄		三笠鉄道記念館
314	佐久間 範造	明治十三年十月十八日米国帆船ジラルド・シ・トベイ号 手宮埠頭へ横着の図	1880(明治13)	北海道立図書館
315	佐久間 範造	明治十三年十月十八日米国風帆船ジラルド・シ・トベイ号 手宮埠頭横着軌鉄陸揚の図	1880(明治13)	北海道立図書館
316	佐久間 範造	後志国小樽郡鴨居古潭新道西の景	1882(明治15)頃	北海道立図書館
317	佐久間 範造	後志国小樽郡鴨居古潭新道西の景	1879(明治12)頃	北海道立図書館
318	三島 常磐	岩見沢工場		北海道博物館
319	三浦 喜八	手宮構内の大勝号		北海道博物館
320	小宮山 信良	札幌停車場之図		北海道博物館
321	小宮山 信良	手宮停車場構内		北海道博物館
322	三島 常磐	空知礦電気車		北海道博物館
323	信伊奈 亮正	夕張シホロカベツ川		北海道博物館
324	小宮山 信良	砂川停車場之図		北海道博物館
325	小宮山 信良	幌内太之図		北海道博物館
326	長万部写真道場	長万部駅・機関庫転車台、長万部町		長万部写真道場研究所受託
327	長万部写真道場	大雪の後の除雪風景 黒松内駅、黒松内町	1956(昭和31)	長万部写真道場研究所受託
328	弘済出版社北海道支社	道内列車時刻表 55年10月1日白紙ダイヤ改正	1980(昭和55)年10月	北海道立図書館
329	交通新聞社	北海道時刻表 60巻12号	2019(令和元)年11月20日	北海道立図書館
330		札幌鉄道局管内線路図	1927(昭和2)	三笠鉄道記念館
331	佐久間 範造	弁慶号試運転	1880(明治13)	北海道立図書館
332	佐久間 範造	第二機関車弁慶号	1880(明治13)	北海道立図書館
333		鉄道模型（弁慶号）		三笠鉄道記念館
334	長万部写真道場	ヘリコプターを雇って、C62-2の最後の姿を空からも撮影	1971(昭和46)	長万部写真道場研究所受託
335	長万部写真道場	函館本線でのC62-2号車の最終走行	1971(昭和46)	長万部写真道場研究所受託
336		鉄道模型（9600型）		三笠鉄道記念館
337	栗谷川 健一	カラフト犬と娘	1963(昭和38)	北海道立近代美術館
338	栗谷川 健一	原生花園	1959(昭和34)	北海道立近代美術館
339	栗谷川 健一	ムックリを鳴らすアイヌ娘	1953(昭和28)	北海道立近代美術館

340	栗谷川 健一	湖水の葦	1955(昭和30)	北海道立近代美術館
341	栗谷川 健一	麦わら帽子	1968(昭和43)	北海道立近代美術館
342	栗谷川 健一	はこだて	1952(昭和27)	北海道立近代美術館
343	ウリュウ ユウキ	151年目の窓	2020(令和2)	作家蔵
祝祭/Festivals				
344	田本 研造	展示品 (武蔵坊弁慶護持大日如来)	1878(明治11)頃	函館市中央図書館
345	田本 研造	展示品 (能面 銅版ほか)	1878(明治11)頃	函館市中央図書館
346	田本 研造	展示品 (竜頭兜の甲冑土座像)	1878(明治11)頃	函館市中央図書館
347		札幌中嶋遊園北海道物産共進会会場之図	1892(明治25)	北海道立近代美術館
348		函館第一次農業博覧会出品陳列図	1879(明治12)	北海道立文書館
349	不詳	函館第一次農業博覧会	1879(明治12)	函館市中央図書館
350	不詳	第一回農業博覧会	1878(明治11)	北海道立図書館
351		農業博覧会見取図	1878(明治11)	北海道立文書館
352	(岩船豊吉出品)	和船模型 (さけ巾着網漁船)	1908(明治41)	北海道大学総合博物館水産科学館
353	(小樽市渡辺兵四郎出品)	和船模型 (にしん梓船)	1908(明治41)	北海道大学総合博物館水産科学館
354	栗谷川 健一	開幕を告げる	1958(昭和33)	北海道立近代美術館
355	栗谷川 健一	北海道博	1958(昭和33)	北海道立近代美術館
356	栗谷川 健一	つのぶえ	1968(昭和43)	北海道立近代美術館
357	栗谷川 健一	北海道百年	1967(昭和42)	北海道立近代美術館
358	栗谷川 健一	北海道百年記念塔設計コンペ	1967(昭和42)	北海道立近代美術館
359	発行：不明	開道50年記念北海道博覧会絵ハガキ (9枚組)	1918(大正7)	北海道立図書館
360	発行：不明	開道50年記念北海道博覧会絵ハガキ	1918(大正7)	北海道立図書館
361	発行：北海道協賛会	開道50年記念北海道博覧会絵ハガキ	1918(大正7)	北海道立図書館
362	吉田 初三郎	小樽御ゑはがき [静止画資料] (5枚組)	1937(昭和12)	北海道立図書館
363	発行：北海道大博覧会/東京	北海道大博覧会画報	1937(昭和12)	北海道立図書館
364	吉田 初三郎	小樽 小樽市鳥瞰図	1936(昭和11)	北海道立図書館
365	発行：国産振興北海道拓殖博覧会協賛会	国産振興北海道拓殖博覧会特撰全実景絵葉書 (40枚組)	1931(昭和6)	北海道立図書館
366	発行：不明	北海道大博覧会記念ゑはがき (8枚組)	1958(昭和33)	北海道立図書館
367	歌：島倉 千代子、赤坂 小梅 発行：日本コロムビア	道博音頭 北海道大博覧会音頭	1968(昭和43)	北海道立図書館
368	栗谷川 健一	第1回さっぽろ雪まつり	1950(昭和25)	北海道立近代美術館
369	NHKアーカイブス	第8回札幌雪まつり (『8ミリフィルム』による菱家の記録)	1957(昭和32)(アーカイブス作成2013(平成25))	北海道博物館
370	栗谷川 健一	雪だるま (第27回さっぽろ雪まつり)	1976(昭和51)	北海道立近代美術館
371	栗谷川 健一	空を飛ぶ (第28回さっぽろ雪まつり)	1977(昭和52)	北海道立近代美術館
372	陸上自衛隊	雪像模型：マレーシア広場	2014(平成26)	さっぽろ雪まつり資料館
373	札幌市大雪像制作団・札幌市消防局と市民ボランティア	雪像模型：ハッピー台湾	2006(平成18)	さっぽろ雪まつり資料館
374	自衛隊：北部方面通信群、第101指揮所通信大隊、北部方面後援支援隊、第101通信直接支援隊	雪像模型：ミュンヘン (フラウエン教会)	2010(平成22)	さっぽろ雪まつり資料館
375		ベナント (memories of SAPPORO sight seeing)	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム

376	ベナント (X I OLYMPIC WINTER GAMES)	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
377	札幌オリンピック 競技シンボルつき壁掛け	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
378	シルバーフラッグ (布製) CITY OF SAPPOROなど	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
379	HiHi NIKKA WHISKY	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
380	札幌オリンピック記念 サントリー ウイスキーゴールド	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
381	札幌オリンピック SUNTORYウイスキー特級	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
382	SAPPORO LAGER BEER (空き缶)	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
383	札幌オリンピック冬季大会1972 公式ガイドマップ	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
384	札幌オリンピック 3カ国語 パンフレット	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
385	札幌オリンピック冬季大会1972年公式総合版	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
386	第22回雪まつり 絵葉書	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
387	札幌オリンピック冬季大会協賛第4回宝くじ	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
388	「あなたの街を聖火が走る」 パンフレット	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
389	札幌オリンピック冬季大会1972 公式ガイドブック	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
390	生きている札幌の道路ーオリンピック関連道路の完成を祝ってー	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
391	100万人のあし (札幌地下鉄開通記念特集号)	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
392	会話とマナー小冊子 (YOKOSO運動) (オリンピック英会話)	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
393	パンフレット(Catholic Services in Sapporo 札幌オリンピック冬季大会'72カトリック宗教サービス案内)	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
394	札幌オリンピック 記念絵はがき第1集	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
395	札幌オリンピック 記念絵はがき第2集	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
396	SAPPORO Today 1971	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
397	国際観光都市 さっぽろ SAPPORO	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
398	美しい北海道	1971(昭和46)	札幌オリンピックミュージアム
399	日本の北歐ー北海道 雪と味覚と温泉の道央観光	1968(昭和43)	札幌オリンピックミュージアム
400	パンフレット (国際観光都市/さっぽろ)	1969(昭和44)	札幌オリンピックミュージアム
401	レコード 虹と雪のバラード	1969(昭和44)	札幌オリンピックミュージアム
402	レコード 世界の友よ 札幌で逢いましょう	1969(昭和44)	札幌オリンピックミュージアム
403 栗谷川 健一	札幌冬季オリンピック招致のための鳥瞰図	1965(昭和40)	北海道立近代美術館
404	札幌オリンピック冬季大会 芸術行事総合プログラム	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
405	札幌オリンピック冬季大会芸術行事 浮世絵名作展	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
406	札幌オリンピック冬季大会芸術行事 能・狂言 パンフレット	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム
407	札幌オリンピック冬季大会芸術行事 北国の芸能 パンフレット	1972(昭和47)	札幌オリンピックミュージアム

408	栗谷川 健一	北海道へ	1938(昭和13)	北海道立近代美術館
409	栗谷川 健一	ジャンプ	1963(昭和38)	北海道立近代美術館
410	栗谷川 健一	スキーの源流	1966(昭和41)	北海道立近代美術館
411	栗谷川 健一	冬の祭典	1968(昭和43)	北海道立近代美術館
412	栗谷川 健一	聖火ゆく	1971(昭和46)	北海道立近代美術館
413	row&row(張 小船+小林 耕 二郎)	ハマナス and オオハンゴンソウ 浜茄子 和 大反魂草	2020(令和2)	作家蔵

2-3 展覧会③ 貸館

◆貸館一覧

当館では貸館事業として道内・外の公募団体、報道機関等に対し特別展示室及び講堂等の会場提供を行っており、公募展や全国組織による道内巡回展、また文化芸術に関わる催しに利用されている。

本年は、展示室 B については年間開催日数 221 日間のうち 46 日間 (20.8%) を、主催者の希望する開催時期にあわせて調整のうえ貸し出した。その利用状況は次のとおりとなっている。また、講堂については 8 件の催しに対し 8 日間会場を貸し出した。

展覧会名	主催者名	会期	開催日数	観覧者数	1日平均観覧者数
生誕 100 年 歿後 20 年 相原求一郎の軌跡	相原求一郎生誕 100 年 記念プロジェクト 北海道新聞社	4 月 19 日(金) ～5 月 26 日(日)	34	20,517	603
北海道書道展第 60 回記念展 北のかがやき 2019	北海道新聞社	10 月 30 日(水) ～11 月 10 日(日)	12	4,512	376
		合計	46	25,029	544